

リアホサ

ヤングアダルトの
親として務めを果たす,
34ページ

ブラジル——発展の
100年, 18ページ

象徴の中に救い主を
見いだす, 52ページ



「時には
避雷針になって、
神の標準を守り、
神の業を行うために
あざけりを
堪え忍ばなければ
ならないこともあります。
神の教義を基にして
生活しているのであれば
恐れる必要はないことを
証します。
誤解や批判、さらに
言われのない非難まで
受けることが
あるかもしれませんが、
わたしたちは決して
独りではありません。
救い主は『侮られて
人に捨てられ』
〔イザヤ 53:3〕ました。
救い主と
ともに立つことは、
わたしたちの
神聖な特権です。』

十二使徒定員会
ロバート・D・ヘイルズ長老
「聖なる場所に堅く立ちなさい」
『リアホナ』2013年5月号、50



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
心を向けるという約束
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な使命
——弁護者

特集

- 18 世界各地の開拓者たち——
ブラジルにおける教会——
ついに成就した預言
マーク・L・グローバー
ブラジルにおける教会は、一つの
小さな移民の家族から100万人
以上の会員へと発展しました。
- 24 モルモン書、イスラエルの集合、
そして再臨
ラッセル・M・ネルソン長老
モルモン書は、二つの神聖な目的の
達成に役立つ、神の道具です。
- 30 アンモンのように
アンモンの話は、あなたのワードや
支部の会員の活発化に役立たない
でしょうか。
- 34 ヤングアダルトの子供を持つ
親への10の助言
ウエンディー・ウルリヒ
これらの5つの問題と10の指針
は、あなたがヤングアダルトの息子や
娘を理解するうえで役立つでしょう。

シリーズ

- 10 わたしたちが信じていること——
わたしたちは聖霊の力によって
教える
- 12 教会での奉仕——
救い主のように導く
ライアン・カー
- 14 旧約聖書の預言者たち——
エリヤ
- 15 『若人の強さのために』の教え——
労働と自立
- 16 教会のニュース
- 38 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
岸から目を離さない
リチャード・M・ロムニー
波にばかり気を取られているとどこ
にもたどり着けません。

表紙

表紙——フォトイラスト/コーディ・ベル
表紙裏——写真/©Robert Harding World
Imagery/Corbis

42



42 キリストにあって完全になる

ジェリット・W・ゴング長老

救い主の完全さは、わたしたちが完全主義や自己批判的な態度、非現実的な考え方を克服するうえで助けになります。



今月号のなか
かく隠れている
リアホナを
さがしましょう。
ヒント——
紫の花を
摘んでください。

64



48 聖約を通して
強いクリスチャンとなる

D・トッド・クリストファーソン長老
どうしたら、道徳的、霊的な力を得られるでしょうか。

52 何が見えますか？

デビッド・A・エドワーズ
福音の儀式にもっと注意を払うなら、新たなことを学べるでしょう。

55 わたしたちのスペース

56 若人の強さのために——
労働——必要なのは誰でしょうか
ランドール・L・リッド

58 泥だらけの靴でパイプを動かす

レイモンド・M・アルトン
ぼくが朝のアルバイトの疲れからようやく回復しかけたとき、定員会のアドバイザーの車が家の前で止まりました。

60 そこが知りたい

61 ポスター——
物事は、見かけどおりとは限らない

62 正しい理由で奉仕する

ラセム・マルーフ
わたしは、サッカーで将来を期待されてきました。本当に伝道に出る必要があったのでしょうか。

64 モルモンは確かに
神を信じています

ブレンダ・エルナンデス・ルイス
その女性に自分はモルモンであることを告げたとたん、彼女はそれ以上わたしと話したがりました。

70



66 特別な証人——

みたまを うけるに
ふさわしく なるには、
どうしたら よいでしょうか？
ボイド・K・パッカー会長

67 信仰についてのレッスン

エマ・R
一粒のメロンの種が信仰について
教えてくれました。

68 わたしの体は、神の宮です

マリッサ・ウイティソン
自分の体について質問がありますか。

70 初等協会を かていでも——

わたしたちは
バプテスマと かくにんを 通して、
教会の かいいんに なります
ジェニファー・マディー

72 わたしたちの ページ

73 仕えるそなえ

エドアルド・ガバレット長老
水はとても冷たかったですが、それでもわたしはバプテスマを受けたいと思いました。

74 せかいの 友だち——

ぼくは、ブラジルの ペドロです
エイミー・ジェーン・レビット

76 小さな みんなのために——

サラは ずっと 歩きつづけました
ハイジ・ポールマン

81 よげんしゃの ポートレート——

トーマス・S・モンソン

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトル

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリ、ラッセル・M・ネelson、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、デビッド・A・ペドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長: クレーグ・A・カードン

顧問: ホセ・L・アロンソ、マービン・B・アーノルド、シェーン・M・ボーエン、スタンリー・G・エリス、クリストフェル・コールデン

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワナー

業務ディレクター: ピンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーブ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

執筆・編集: フリッターニー・ビーティ、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリットソン、ミンディ・ライ・フリードマン、ローリー・フラー、ギャレット・H・ガーフ、ラリン・ポーター、ガント、ジェニファー・グレース・ファロン、マイケル・R・モリス、サリー・ジョンソン・オデカーク、ジョシュア・J・パーキー、ジャン・ピンボロ、リチャード・M・ロムニー、ポール・バンデンバーク、マリッサ・ウィティソン

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンディー・M・ベントレー、C・キンボール・ポット、トーマス・チャイルド、ネット・ギネス、コリン・ヒンケル、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフブレン、スコット・M・ムーイ、マーク・W・ロビンソン、ブラッド・テアー、K・ニコール・ウォークホースト

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

制作: ケビン・C・パンクス、コニー・パウソフ・ブリッジ、ジュリー・バーデット、ブリアン・W・ギョキ、デニス・カービー、ギニー・J・ニルソン、ゲイル・テート・ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレーグ・K・セドウィック

配送ディレクター: スティーブン・R・クリスチャンセン

日本語版翻訳課長: 森田康貴

●定期購読は、『リアホナ』注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●『リアホナ』のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 950円(送料共)
普通号/大会号 100円

『リアホナ』へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。
Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

『リアホナ』(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバーニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2014 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

『リアホナ』に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

July 2014 Vol. 38 No. 7. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5). NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



フォートスミス/リチャード・ペイル

「キリストにあって完全になる」42 ページ
——完璧主義についてのゴング長老の教えに基づき、○×式のクイズを作ります。これは家族が自分には完璧主義の傾向がないかどうか気づく助けになります。例えば、次のような文を作るとよいでしょう。「間違いをしたときでも、明るい気持ちでいられる。」「ほかの人を赦すのは自分には難しい。」救い主に頼ることについてのゴング長老の教えと一緒に読みます。適切な目標を定め、完璧主義を克服する方法を教えるために、『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』146-147 ページに書かれた提案を活用してもよいでしょう。

「わたしの体は、神の宮です」68 ページ
——この記事に書かれた質問を使って、自分の体を大事にする方法を子供に教えます。良い食習慣について子供に教えるために、果物や野菜などの健康的なおやつを与えるとよいでしょう。子供が健康と活力に感謝するよう助けるために、スポーツや戶外活動をしてもよいでしょう。自分のワードや支部、学校で障がいのある子供や青少年がいれば、そのような人に援助の手を差し伸べるよう子供たちを励ましてください。また、『友達』(『子供の歌集』, 78) を歌ってもよいでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、『リアホナ』や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

証, 64	儀式, 52, 70	バプテスマ, 52, 70, 73
イエス・キリスト, 7, 12, 42	旧約聖書, 14	奉仕, 12, 56, 58, 62, 73
戒め, 60	結婚, 41	召し, 12
永遠の見地, 42, 80	再臨, 24	モルモン書, 24, 30, 38, 55
教え, 10	贖罪, 7, 42	ヤングアダルト, 34
親の務め, 34	信仰, 48, 67	預言者, 14, 81
改心, 18	神殿, 18	労働, 15, 56, 58
開拓者, 18, 76	聖餐, 52, 70	
確認, 52, 70	聖約, 24, 48	
家族, 34, 39, 40, 41, 80	聖霊, 10, 40, 66	
家族歴史, 4, 6, 14, 55	伝道活動, 18, 30, 62, 64	
活発化, 30, 38	肉体, 68	



大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

心を向ける という約束

わ たしの母 Mildred・ベニオン・アイリングは、アメリカ合衆国ユタ州のグレンジャーという農村で育ちました。母の兄弟の一人、ロイは家業であった羊牧場を継ぎました。若い頃、ロイは何週間も家を離れて過ごしました。やがて教会への関心は薄れていきました。最終的に彼は、合衆国アイダホ州に引っ越し、結婚し、3人の子供を持ちました。そして、34歳のときに亡くなりました。妻が28歳で子供たちがまだ幼いときでした。

ロイの家族はアイダホ州に住んでいて、わたしの母は約2,500マイル(約4,025キロ)離れた合衆国ニュージャージー州に以前から移り住んでいましたが、母はしばしば愛と励ましの手紙をロイの家族に書き送りました。おじの家族は愛情を込めて母のことを「ミッドおばさん」と呼んでいました。

歳月が過ぎ、いとこの一人から電話があり、ロイの奥さんが亡くなったことを告げられました。いとこはこう言いました。「ミッドおばさんなら、あなたに知らせたいだろうと思って。」ミッドおばさんはそれより随分前に亡くなっていましたが、ロイの家族は彼女の愛をずっと感じていて、わたしに知らせてくれたのです。

わたしは、ニーファイ人の預言者たちが自分の家族や一族の中で果たした役割にも似て、母が自分の家族と親族の中で果たした役割の大きさに心を打たれました。ニーファイ人の預言者たちも、イエス・キリストの福音の影響力を及ぼしたいと願った家族に近くあり続けることによって、その役割を果たしたのです。ニーファイは、族長リーハイの信仰に兄たちの子孫が立ち返るうえで影響を及ぼすことを願って

記録を書きました。モーサヤの息子たちは、リーハイの子孫に福音を宣べ伝えるときに同様の愛を示しました。

主は、永遠に続く家族や先祖の愛を感じる方法をわたしたちのために用意されました。^{こんにち}今日、教会の若い人々は、自分たちの心が家族や先祖に向かうのを感じています。現世で救いの儀式を受ける機会のなかった家族や先祖の名前を探しています。バプテスマの水に入るとき、主の愛と、自分たちが代理の儀式を執り行う家族や先祖の愛を感じる機会を得ます。

わたしは今も、電話をくれないとこの愛のこもった言葉を覚えています。「母が亡くなりました。ミッドおばさんなら、あなたに知らせたいだろうと思って。」

家族や先祖のために儀式を執り行う皆さんは、モーサヤの息子たちや預言者ニーファイがしたように、愛の手を差し伸べているのです。そして、彼らと同様に皆さんも、その儀式を受け入れる人々に対する喜びを感じることでしょう。皆さんはまた、アンモンと同じく、大いに心が満たされるのを感じられるでしょう。アンモンは遠縁に当たる^{はらから}同胞の中での自分の伝道活動についてこう言っています。

「だから、わたしたちは誇って喜ぼう。まことに、主を誇って喜ぼう。まことに、わたしたちの喜びは満ちているので、喜びを味わおう。まことに、とこしえに神をほめたたえよう。見よ、主を誇って喜びすぎることがあり得ようか。まことに、主の大いなる力と、主の^{あわ}憐れみと、人の子らに対する主の寛容について語りすぎることがあり得ようか。見よ、わたしはあなたがたに言うが、わたしは感じていることの万分の一も言い表せない。」(アルマ 26:16)



家族や先祖がどこにいるかにかかわらず、彼らに皆さんが抱いている愛の気持ちは、エリヤが来るという約束の成就であることを証します。確かにエリヤは来^{あかし}ました。子孫の心は先祖に向かい、先祖の心は子孫に向かっています（マラキ4:5-6；ジョセフ・スミス—歴史1:38-39参照）。皆さんが先祖の名前を見つけて神殿に提出しようというせき立てられるような願いを感じる時、皆さんはこの預言を自ら成就しているのです。

心に向けるという約束が成就する時代に生きていることは祝福です。

ミルドレッド・ベニオン・アイリングも、心の中にそのような強い願いを感じていました。自分の兄弟の家族を愛し、彼らに手を差し伸べました。

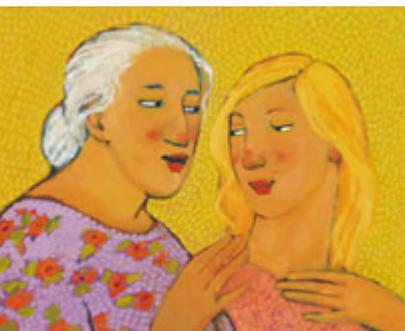
そして彼らは、自分たちの心が愛に満たされミッドおばさんに向かうのを感じました。彼女が自分たちを愛していることを知っていたからです。■

このメッセージから教える

訪問先の人たちとともに、エリヤの霊についての預言を読むとよいでしょう（マラキ4:5-6；ジョセフ・スミス—歴史1:38-39参照）。索引作成、写真、ブログなどのツールを含め、家族歴史活動に携わる方法について話し合ってください。訪問先の人たちが familysearch.org についてあまり知らなければ、時間を割いて紹介するのもよいでしょう。

祖母のことを知る

ジュウェレーン・カーター



わたしは若い女性のプロジェクトの一つとして、祖母が先祖を探すのを手伝うことを進んで申し出ました。米国アリゾナ州メサにある家族歴史センターで、マイクロフィルムのシートを読み取り機でスクロールして調べる作業です。祖母と並んで座ってわたしたちの先祖を探していると、このような

疑問が湧いてきました。「今隣にいる祖母について、自分には実際にはあまり多くのことを知らないのではないかしら。」

二人で多くの先祖を見つけ、記録を作成し、アリゾナ州メサ神殿へ行ってバプテスマと確認の儀式を受けました。その後間もなく、家族歴史をまとめた資料集を祖母からもらいました。

祖母はリウマチ性関節炎を患っているため、文字を打つのはとてもつらいのです。わたしはコンピューターを操作する手伝いを楽しんでいます。家族が霊的な恩恵を受けられるように、一緒に祖母の自伝を書いています。このようなプロジェクトで力を合わせながら、祖母とともに過ごし、教会の歴史について多くを学ぶことに大きな喜びを感じています。

筆者はアメリカ合衆国バージニア州在住です。

こども

かていの ^{なか}中に

かていの ^{なか}中に

あい ^みあらば

見るもの ^{すべて}

うつくしく

「家庭の愛」(『賛美歌』181番)

天の ^{お父さま}は、わたしたちが ^{しあわせ}になれるように、^{かぞく}を ^{あい}するよに ^{のぞん}でおられます。^{かぞく}の ^{ため}に ^{ほうし}すれば ^{する}ほど、わたしたちは ^天の ^{お父さま}や ^{かぞく}を ^{あい}するよに ^{なり}ます。



このような ^{ハートの} ^{かたち} ^形を、^{かみ} ^紙に ^か書いて、
切ります。ハートの ^{かたち} ^形の ^{かみ} ^紙に、^{げん} ^き ^元気に
なる ^{こと}ばや ^え ^絵を ^か書いて、^{ない} ^しよで
^{かぞく}に ^{とど}けます。それを ^みて、
^{かぞく}が ^{どん}なに ^{しあ}わせ
^そうな ^{かお} ^顔を ^するか、
^みて ^みましよう。

祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか
詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な使命—— 弁護者

本記事は、救い主の使命の様々な面に
焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの
一環です。

イエス・キリストは御父に対するわたしたちの弁護者であります。英語で「弁護者」に当たる *advocate* という言葉は、「人のために弁じる」という意味のラテン語から派生したものです。¹ 救い主は理解と正義と憐れみをもってわたしたちのために弁じてくださいます。このことを知るとき、わたしたちは主の贖罪を心から大切に思うようになり、感謝の念に満たされます。

「父に対する弁護者であって、父の前であなたがたのために弁じる者〔であるイエス・キリスト〕の言葉を聴きなさい。

すなわち、『父よ、罪を犯したことがなく、あなたが御心にかなうとされた者の、苦しみと死を御覧ください。あなたの子が流した血、すなわち、あなた御自身が栄光を受けるために、あなたがお与えになった者の血を御覧ください。

そのために、父よ、わたしの名を信じるこれらわたしの兄弟たちが、わたしのもとに来て永遠の命を得られるように、彼らをお救いください』と。」

考えてみましょう

イエス・キリストが弁護者であることを思うとき、人に憐れみを示し、赦そうという気持ちがどのように湧いてくるでしょうか。



(教義と聖約 45:3 - 5)

弁護者としてのキリストについて、十二使徒定員会の D・トッド・クリストファーソン長老は次のように述べています。「わたしにとって非常に大切なことは、いかなる時でもどんな状況にあっても、祈りを通して恵みの御座に近づくこと、天の御父がわたしの嘆願を聞いてくださること、罪を犯したことがなく、自らの血を流された弁護者が、わたしのために執り成しをしてくださることです。」²

その他の聖句

モーサヤ 15:8 - 9; モロナイ 7:28;
教義と聖約 29:5; 110:4

注

1. ラッセル・M・ネルソン「わたしたちの主——キリストなるイエス」『リアホナ』2000年4月号、9 参照
2. D・トッド・クリストファーソン「わたしはだれを頼みにしているか知っている」『聖徒の道』1993年7月号、86 参照
3. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』180も参照

信仰・家族・扶助



聖文から

主の教会の歴史を通じて、イエス・キリストの女性の弟子たちは主の模範に倣ってきました。エステルは忠実で勇敢でした。いとこのモルデカイはエステルに、ユダヤ人を滅ぼすように命じた王の詔書の写しを送り、「その民のために……王の前に願ひ求める」ように言いました。そして次のように述べました。「あなたがこの国に迎えられたのは、このような時のためではなかったとだれが知りましょう。」(エステル 4:8, 14)

危険にさらされることになるにもかかわらず、エステルは同意しました。「わたしは法律にそむくことですが王のもとへ行きます。わたしがもし死なねばならないのなら、死にます。」(エステル 4:16)

その後、エステルはへりくだって王と話し、「その足もとにひれ伏して、……ユダヤ人を滅ぼ〔すように命じた〕書を取り消すよう「涙ながらに請ひ求め」ました。そして次のように言いました。「どうしてわたしは、……わたしの同族の滅びるのを、だまって見ていることができましょうか。」(エステル 8:3, 5 - 6 参照) 王は心を和らげて、エステルの嘆願を聞き届けました。³

2014年4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……
わたし自身の声によろうと、わたしの僕^{しもべ}たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2014年4月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、
生ける預言者と使徒、ほかの教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

教義的な重要点



結婚と純潔

「〔最近、〕大管長会と十二使徒定員会は世界中の教会の指導者に手紙を出しました。その中でこう述べています。「民法の変更により、神が定められた道德に関する律法が変わることはありませんし、まったく変えることはできません。神は、たとえ社会の意見や潮流と異なるとしても、神の戒めを守り続けるよう、わたしたちに期待しておられます。神の純潔の律法は明白です。すなわち、性的な関係を持つことは、夫と妻として正式に法律にのっとって結婚した男女間でのみ適切だということです。

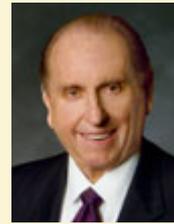
……世の人々は主の純潔の律法から離れていきますが、わたしたちはそのようなことはありません。……

多くの政府や悪意のない個人が結婚の定義を変えています。主は変えてはられません。天地が創造されたとき、神は男と女、すなわちアダムとエバの間に結婚をお定めになりました。結婚の目的は、大人が自分の望みを満たしたり、達成したりすることにとどまらず、さらに重要なことは、子供を生み、養育する理想的な環境を作ることです。家族は天の宝です。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老
「**霊を滅ぼす嵐**」『リアホナ』2014年5月号, 19

アンダーセン長老は、難しいテーマについての疑問や不安に対処する方法について話しています。lds.org/go/andersen714 にアクセスして、言語ボタンで「日本語」を選択してください。

預言者の約束



勇気

「正しい決断をするためには勇気が必要です。断るべきときに「いいえ」と言う勇気、そうすることが適切なときに「はい」と言う勇気、正しいと分かっていたら、それを行う勇気が必要です。……このような内なる勇気とは、恐れを感じる時でも正しいことを行い、人からあざけられるとわかっていても信仰を擁護し、友人や社会的な地位を失う恐れがあるときさえ信念を貫くことです。……わたしたちが正しい生活を送るために努力して前進するとき、あるべき姿で生きる努力をするなら、間違いなく主からの助けを受け、主の言葉に慰めを見いだすでしょう。」

トーマス・S・モンソン大管長
「**強く、また雄々しくあれ**」
『リアホナ』2014年5月号, 66, 67, 69

lds.org/go/monson2714 にアクセスして、言語ボタンで「日本語」を選択し、どすうれば勇気を培えるかをモンソン大管長から学んでください。

救いの業を速める

非常に重要なテーマについて、複数の話者が総大会で話しています。救いの業を速めることについて、3人の話者が語ったことを次に挙げます。

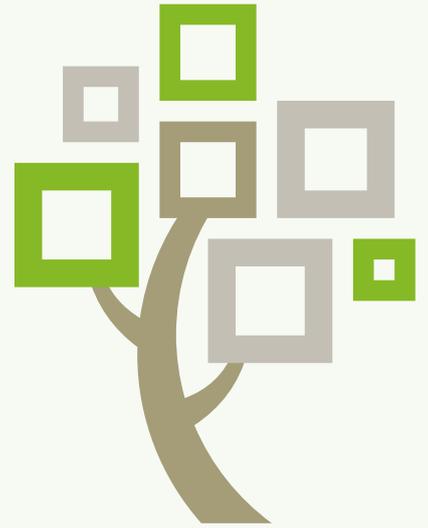
- 「どれほど大切なメッセージであっても、着実な粘り強いフォローアップなしには分かち合う機会を与えられないことがあります。」¹ — M・ラッセル・バラード長老 lds.org/go/ballard714 にアクセスして、言語ボタンで「日本語」を選択し、バラード長老の勧めについてさらに学んでください。
- 「アリゾナ州ギルバート神殿は……儀式が執行されている 142 番目の神殿 [となりました。] ……これまでに発表された神殿がすべて完成すると、儀式が執行されている神殿が世界中に 170 あるこ

とになります。」² — トーマス・S・モンソン大管長 lds.org/go/monson714 にアクセスして、言語ボタンで「日本語」を選択して、さらに学んでください。

- 「わたしたちは『世のものを捨てて…… [わたしたちの] 聖約を固く守 [り]』 [教義と聖約 25: 10, 13], キリストのみもとに来て、キリストに従います。それこそ弟子が行うことなのです。」³ — リンダ・K・バートン lds.org/go/burton714 にアクセスして、言語ボタンで「日本語」を選択し、バートン姉妹のお話を視聴してください。

注

1. 「フォローアップ」『リアホナ』2014 年 5 月号, 78
2. 「大会へようこそ」『リアホナ』2014 年 5 月号, 4
3. 「求む — 御業を速める手と心」『リアホナ』2014 年 5 月号, 122



「ファミリーツリーの集い」を開く方法

「わたしたちはついに、家族がこの栄えある救いの業を達成するための教義、神殿、そしてテクノロジーを手に入れました。 [それぞれの] 家族で「ファミリーツリーの集い」を開くよう提案します。1 回だけでなく、繰り返し行います。」

— クエンティン・L・クック長老
「根と枝」『リアホナ』2014 年 5 月号, 47 参照

1. 家族が集まって、先祖にまつわる歴史や話、写真、先祖伝来の品物などについて情報を分かち合ってください。
2. こうした話や写真をファミリーツリーにアップロードし、情報源となる資料を先祖に結び付けてください。
3. どの先祖が、神殿の儀式をこれから行う必要があるかを見定め、家族に儀式を行う割り当てをしてください。

lds.org/go/cook714 にアクセスして、言語ボタンで「日本語」を選択し、クック長老の話す、家族歴史を通して祝福を受ける他の方法を見つけてください。



総大会説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、conference.lds.org にアクセスしてください。

わたしたちは 聖霊の力によって教える

わたしたちはイエス・キリストの福音を聖霊の力によって教えることが神の救いの業にとって不可欠であると信じています。効果的に教えることを通して、人々が信仰を増し、福音に従って生活したいという望みを強めるのを助けることができます。教える機会は様々な場面で訪れます。教会でレッスンや話をするときをはじめ、一つの聖句について家族と話し合うときや、神権とは何かを隣人に説明するときにも、わたしたちは教えることとなります。

「この教会の……教師は、『聖書』と完全な福音が載っている『モルモン書』の中にあるわたしの福音の原則を教えなければならない。

また、彼らは聖約と教会の規定とを守って実行しなければならない。また、御霊に導かれるままに、これらを彼らの教えとしなければならない。

御霊は信仰の祈りによってあなたがたに与えられるであろう。そして、御霊を受けなければ、あなたがたは教えるはならない。」(教義と聖約 42 : 12 - 14)

効果的に教えるための次の4つの原則について考えてみましょう。

- **生徒を愛する。**自分が教える人たちのことを知りましょう。教える準備をする際、彼らが必要としていることについて祈りをもって考えてください。いろいろな教え方を用いてみましょう。異なる方法を用いることで異なる人々の心に触れることができます(右にあるアイデアを参照してください)。
- **御霊によって教える。**「人が聖霊の力によって語るときには、聖霊の力がそれを人の子らの心に伝える」とニーファイは教えています(2 ニーファイ 33 : 1)。教えるときに、証^{あかし}を述べたり、聖文や末日の預言者の教えを用いたりすることによって、御霊の影響力を招くことができます。教える準備をする際、聖霊の導きを祈り求めてください。どのように教えるのが一番良いかを靈感によって知ることができるでしょう。
- **教義を教える。**聖典、総大会の説教、テキストなど、教会によって承認された教科課程用資料には、教義すなわち神から授け

られた永遠の真理が記されています。

- **熱心に学ぶよう勧める。**教えるとき、レッスンを聴く人たちには自分の学習に対して責任があることを覚えておきましょう。彼らが質問し、テーマについて思うことを話し、福音の原則をどのように実践できるか深く考えるように促してください。学んだ原則を実践するにつれて、彼らはその原則について証を強めていくでしょう(ヨハネ 7 : 17 参照)。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910 - 2008年)は、良い教え方をするこの大切さについて次のように述べています。「永遠の命は、兄弟姉妹がそのような効果的な方法で教えを受け、自らの生活を変え、訓練することによってのみもたらされます。強制により彼らに義を行わせ、天国に行かせるのは不可能です。皆が導きを得なくてはなりません。つまり教育が必要なのです。」(ジェフリー・R・ホランド「神からこられた教師」『聖徒の道』1998年7月号, 29で引用)■

詳しくは、教義と聖約 50 : 13 - 22 ; 『手引き 第2部——教会の管理運営』 5.5.4 を参照してください。

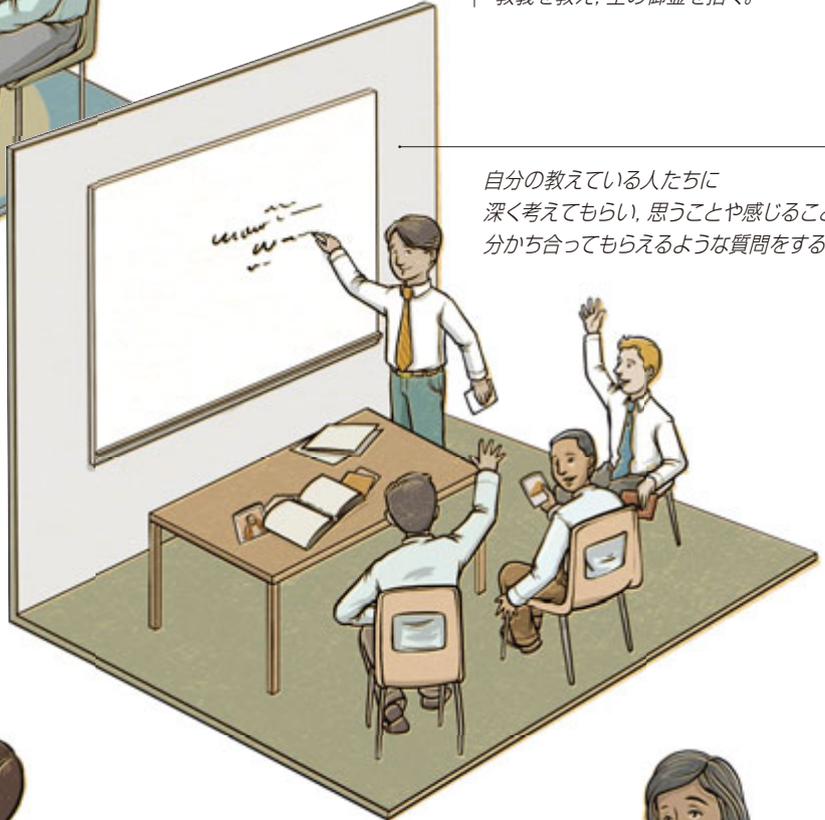
このような教え方をするとき、
学び方の異なる様々な人たちの
心に触れることができるでしょう。



神聖な音楽を流すか、歌う。
賛美歌や初等協会の歌は、
教義を教え、主の御霊を招く。



聖文の中の話や
自分自身の
経験などから、
心を高める話や例を
紹介する。



自分の教えている人たちに
深く考えてもらい、思うことや感じることを
分かち合ってもらえるような質問をする。



絵や写真や物を見せる。
福音の原則は、種や岩、植物といった
身近なものにとえることができる。



教えている福音の
原則について証する。
証は聖霊を招き、
聖霊は真理について
証してください。

救い主のように導く

教会機関誌
ライオン・カー

世の最もひどい指導者と、完全な指導者であられる世の救い主とはまるで対照的です。スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985 年）は次のように説明しています。「歴史上の人物で民を悲惨な状況に追いやった指導者たちは、このガリラヤ人が示した資質をほとんど持っていなかったという点に、その悲劇性があるのです。イエスは私心のない御方でしたが、彼らは利己的でした。イエスは自由をもたらそうとされましたが、彼らは支配しようとしてしました。イエスは仕えようとしてされましたが、彼らは地位を得ようとしてしました。イエスは人々が本当に必要としていることに応えようとされましたが、彼らは自分自身の必要や欲望を満たすことだけを願いました。イエスは御自分の弟子たちの成長に関心を寄せられましたが、彼らは人間を操ろうとしてしました。イエスは正義と釣り合いの取れた思いやりに満ちておられましたが、彼らは非常に多くの場合、情け容赦なく不当な行為を働きました。」¹

主の教会で指導者として成功するためには、主の模範に倣わなければなりません。次に紹介する事柄は、わたしたちがもっとキリストのような指導者になるうえで助けとなるでしょう。

キリストのような指導者は「神の栄光にひたすら目を向けて」奉仕し（教義と聖約 4:5）、天の御父の御心みこころを行おうと努めます。救い主は次のように言われました。「わたしが天から下ってきたのは、自分のこのまま

を行うためではなく、わたしをつかわされたかたのみこころを行うためである。」（ヨハネ 6:38）

キリストのような指導者は「肉の腕」に頼りません（2 ニーファイ 4:34）。へりくだって導きを祈り求めます。主を待ち望み、自分自身の才能や能力に頼るのではなく、主の時に主の方法で主の業を行おうと努めます。

キリストのような指導者は教会での地位を求めません。召しを昇格ではなく奉仕の機会と受け止めます。解任を降格と受け止めることもありません。解任は全ての召しにおいて必ず訪れるものです。

キリストのような指導者は僕しもべであり、自分が仕える人たちを助け、教え、励まします。救い主がなさったように、人々を祝福しようと努めます。「主は、世のためになることでなければ何事もなさらない。」（2 ニーファイ 26:24）キリストのような指導者は自分のことを、人々が主のもとに帰るのを助ける主の代表者であると考えます。

キリストのような指導者は人々が成長するのを助けようと努めます。キンボール大管長はまた次のように教えています。

「イエスは御自分に従う者たちを信頼し、彼らが成長できるように、御自

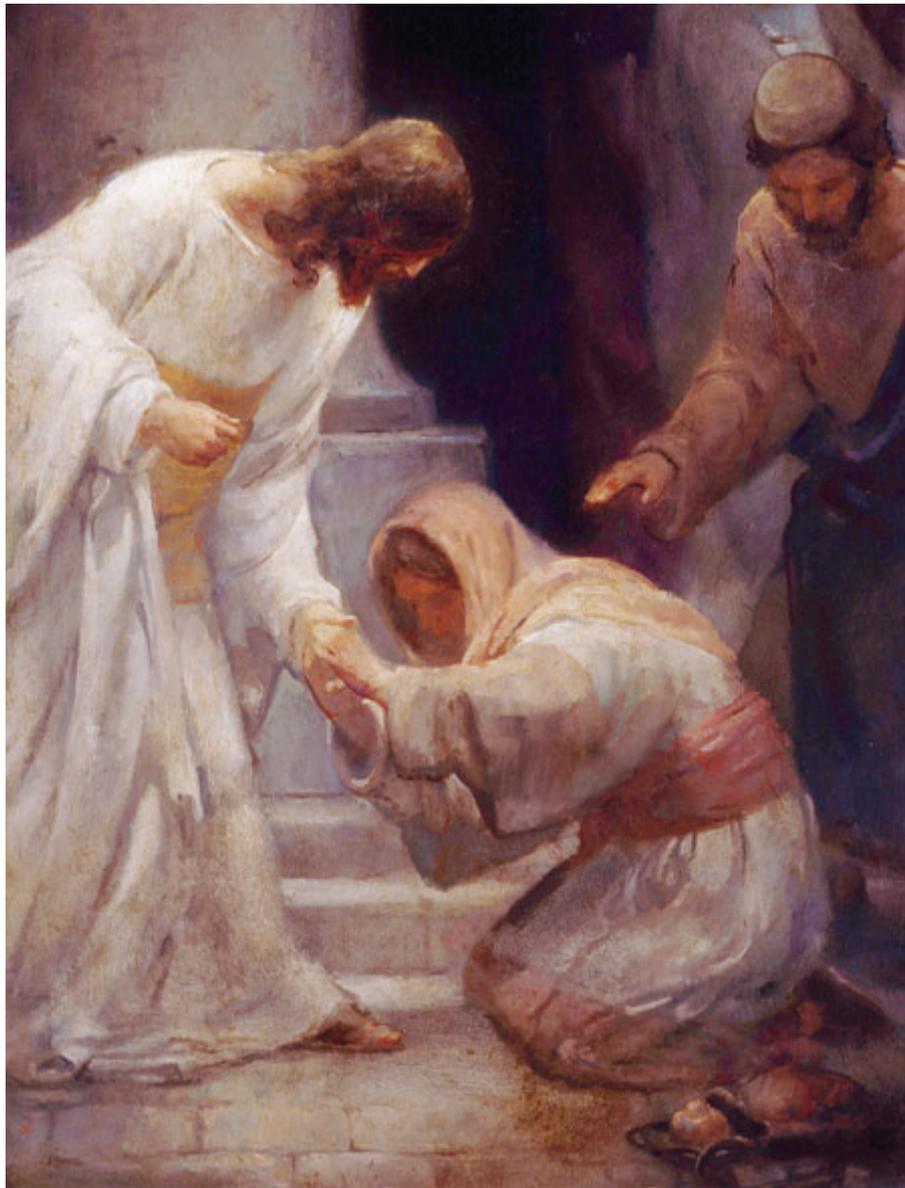
「でも指導者としての経験がありません！」

もしまだあまり経験がなくても心配しないでください。皆さんは権能を持つ者によって、靈感によって召されています（信仰簡条 1:5 参照）。主は皆さんがどのような人物になることができるかを御存じです。人を導く召しは、自分の長所を伸ばし、弱点を克服する機会となります。

企業やその他の組織では、学歴や経験が指導者の重要な要件とされることがよくありますが、主の方法は異なります。ロレンゾ・スノー大管長（1814 - 1901 年）は次のように教えています。「神がお召しになった使徒たち、すなわち神の御子イエスが〔お召し〕になった使徒たちは、高い教育を受けた人々ではありませんでした。学問を理解していたわけでもなく、ユダヤで高い地位にあったわけでもありませんでした。貧しく、無学で、世の目立たない職業に就いていた人々でした。……さて、主は人とは異なる御方です。主がお与えになる召しは、人が召す職責とは異なります。」¹ 幸いなことに、主は御自分が召した人をふさわしくして下さるのです。²

注

- 1.『歴代大管長の教え——ロレンゾ・スノー』135 参照
2. トーマス・S・モンソン「召しの義務」『聖徒の道』1996 年 7 月号, 52 参照



教会員の相談を受ける 指導者の皆さんへ

皆さんの助けを必要としている教会員と面談するとき、彼らは自分の問題を代わりに解決してほしいと思っているかもしれません。しかし、そのようにすれば彼ら自身の成長を妨げてしまうこととなります。また、すぐに解決することを期待してやって来るかもしれませんが、彼らの問題は解決にもっと時間を要する場合があります。これらはよく直面する課題です。神権指導者たちから提案された以下の質問は、会員の相談を受ける準備をするうえで役立つでしょう。

- 会員の相談を受けて助けるとき、問題を克服する責任はあくまで会員本人が負うようにしているでしょうか。
- 会員が自分で答えを見いだせるように導いているでしょうか。
- 会員が同意したことを実行するよう、引き続き関心を示しているでしょうか。
- 会員が自分の問題を解決するための支援手段を見つけられるように助けているでしょうか。
- 主に叫び求めるように会員を励ましているでしょうか。
- 会員に進歩を促すような助言ができているでしょうか。

もちろん、状況はどれも異なりますから、御霊の導きに従うことが重要になります。愛と忍耐をもって霊的に敏感な状態で奉仕するなら、良い結果が得られることでしょう。

分に託されていた責任を委任なさいました。これこそイエスの指導がわたしたちに与えてくれる最高の教訓の一つです。他の人のことは深く考えず、とにかく仕事を早く効果的に仕上げようという考えなら、確かに仕事そのものはうまくいくかもしれません。しかし、後に続く人たちの進歩や成長はありません。それは非常に重要な点なのです。……

イエスは人々の受け入れる能力に応じて、真理を教え、責任を与えられました。力以上のものを与えて途方に

暮れさせるようなことをせず、彼らの人格を成長させるに十分なチャレンジを与えられたのです。」²

預言者ジョセフ・スミスは非常にうまく民を導きましたが、その方法について次のように述べています。「わたしは人々に正しい原則を教えて、自らを治めさせます。」³ これこそ主の導き方の真髄です。■

注

1. スベンサー・W・キンボール「イエス：完全な指導者」『聖徒の道』1983年8月号、10参照
2. スベンサー・W・キンボール「イエス：完全な指導者」9、10参照
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』284

エリヤ

「エリヤは最も偉大な預言者の一人であり、結び固めの力を主から授けられました。」¹

—ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 (1876 - 1972 年)

わたしはイスラエルの北王国で預言者として民を教え導きました。² イスラエルの民が邪悪な生活をしていたので、わたしは雨が降らないように天を封じてしまいました。その結果、国中にききんが起きました。その間、わたしは川のほとりで暮らし、カラスに食物を運んでもらいましたが、しばらくしてその川もかれてしまいました。³

わたしは、ザレパテに住む寡婦のところへ行くよう主から命じられました。そうすれば、養ってもらえるとのことでした。その人が薪を集めているのを見つけました。自分と息子のために最後の食事を用意するためです。わたしは彼女にこう言いました。もし、まず先にわたしのために食事を作ってくれるなら、「主が雨を地のおもてに降らす日まで、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えない[でしょう]」。⁴ その寡婦は信仰を行使し、

主は御自分の約束を果たされました。

その寡婦の家族と一緒に暮らしている間に、息子が死にました。わたしは主に懇願しました。「わが神、主よ、この子供の魂をもとに帰らせてください。」⁵ 主はわたしの声を聞かれ、息子は生き返りました。⁶

後にわたしは、バアルの祭司たちに対抗して、イスラエルの民に主の力を示しました。祭司たちは燔祭を用意し、火を下すようバアルの神を一日中呼び求めましたが、火は現れませんでした。わたしはイスラエルの12部族を象徴する12個の石で祭壇を築き、その周囲に溝を掘りました。そして、かめ12杯の水を祭壇と燔祭に注ぎ、薪を濡らし、溝を満たしました。わたしが主を呼ぶと、主が火を下されました。火は燔祭と祭壇を焼き尽くし、水をなめ尽くしました。その後、わたしが主に祈ると、主は天を開き、雨を降らせてくださいました。⁷

わたしは生涯を閉じるとき、死ぬことなく、火の車に乗って天に昇りました。⁸ キリストが地上で教え導かれた間に、わたしは変貌の山に現れ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネに神権の鍵を授けました。⁹

末日にわたしは再び現れました。「先祖の心を子孫に、子孫の心を先祖に向けさせ[る]」ためです。1836年4月3日、カートランド神殿を訪れ、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに結び固めの力の鍵を回復しました。¹⁰

注

1. ジョセフ・フィールディング・スミス, *Answers to Gospel Questions*, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編, 全5巻, 1957 - 1966年, 第4巻, 193
2. 聖句ガイド「エリヤ」の項参照, scriptures.lds.org
3. 列王上 17:1 - 7 参照
4. 列王上 17:8 - 16 参照
5. 列王上 17:21 参照
6. 列王上 17:8 - 24 参照
7. 列王上 18章参照
8. 列王下 2:11 参照
9. マタイ 17:3; 「聖句ガイド」「変貌」の項も参照; scriptures.lds.org
10. 教義と聖約 110:13 - 16 参照

「聖書の聖書をめぐるエリヤ・ロバート・T・バレット画。バアルの祭司たちと敵対するエリヤ・ジェリー・ハーストン画。天に昇るエリヤ W・H・マルゲット画。教義と聖約の聖書に於て。変貌。カール・ハイリッヒ・ノット画。デナム・ヒレスのフレックスボーン城内にある国立歴史博物館の聖書に於て。カートランド神殿に現れるエリヤ・ダニエル・A・ルイス画。カラスのイラスト。KOZHI/STOCK/THINKSTOCK





労働と自立

青少年や子供たちが一生懸命に働き、自立することを学ぶとき、彼らは「地域社会に貢献する」備えをしているのです（『若人の強さのために』、40）。

この号の56 - 57ページで、中央若い男性会長会のランドール・L・リッド第二顧問は、父親と一緒に建築工事の仕事から学んだことに触れています。リッド会長は其中で、一生懸命に働くこと、積極的な姿勢を持つこと、そして主の王国を築くことの大切さについて説明し、次のように述べています。「それでは、働く必要があるのは誰でしょうか。わたしたち全員です！ 働くことこそ、この世における自立と達成と喜びの母なのです。皆さんが楽しげに業に携わるとき、皆さんがまいた種によって周りの人が皆、豊かな刈り入れを楽しむことができるでしょう。」

青少年に教えるための提案

- 『若人の強さのために』にはこう書かれています。「自分で高い目標を設定し、その目標を達成するために熱心に努力してください」（40ページ）。あなたの子供と一緒に青少年のためのモルモンメッセージのビデオ“A Work in Progress”（「業は前進する」）を見てもよいでしょう（mormonchannel.org/come-follow-meのMarriage and

Familyのビデオ参照）。その後、幾つかの目標を設定したり、目標を達成するための計画を作ったりするために一緒に取り組んでください。

- わたしたちが積極的な態度でいるとき、労働はもっと簡単になります。この号の58 - 59ページにある「泥だらけの靴でパイプを動かす」を読んで、自分の態度がどのように労働に影響を与えるかについて話し合ってください。
- 「インターネット、テレビゲーム、テレビなどに時間を使いすぎて、生産的な仕事ができなくなるのも一種の怠惰です。」（『若人の強さのために』、40）子供にインターネット、テレビゲーム、テレビの利点と危険性について尋ねてください。どのようなときに、これらのツールが妨げとなるでしょうか。生産的な仕事からどのような祝福が得られるでしょうか。少しの間、電子機器を全て脇に置いて、一緒に生産的なことに取り組むことによって、子供がこれらの祝福を経験するのを助けてください。

子供に教えるための提案

- 伝道活動は困難な仕事です。子供が自立を学ぶことは、伝道の業に備える助けとなるでしょう。

このテーマに関する聖句

イザヤ 55 : 2

2 ニーファイ 5 : 17, 27

モーサヤ 4 : 16 - 21

教義と聖約 58 : 26 - 29

ジョセフ・スミス一歴史 1 : 55

子供とともに、宣教師として知っておくべき家事のリストを作ってください（例えば、洗濯、料理、掃除など）。その後、幾つかの家事を一緒に行ってください。

- リッド兄弟は、自分の記事の中でこう述べています。「最も重要な働きは神の業です。」あなたの家族は主の業を進めるためにどのようなことができるでしょうか。人をキリストのもとに導く助けとなるように家族として一緒にできる活動を考えてください。
- 自立するためには、お金を管理する方法を学ぶことも必要です。子供に予算管理の原則と、^{じゅうぶん}自分の一を納めることを予算の中に組み入れる大切さについて教えてください。■

教会のニュース

教会のニュースや出来事についてもっとお知りになりたい方は lds.org/church/news?lang=jpn にアクセスしてください。

LDS 慈善事業団, 国連の行事で注目される

LDS 慈善事業団の活動が、アメリカ合衆国ニューヨーク州にある国連本部で先日行われたパネルディスカッションの話題になった。「人道支援に見られるモルモニズムとその役割」と題されたその行事は、国連広報局の NGO 課が後援するもので、宗教に焦点を当てたシリーズの一つである。

「このシリーズの目的は、寛容や、自分と異なる背景を持つ人々への敬意、紛争の和解と平和的解決へ進む決意といった基本的な原則を、異なる宗教が共有しているという理解を広めることです」とスペイン出身の教会員で国連広報アシスタントを務める司会者フェリペ・ケイボ兄弟は述べている。

「貧しい人を助けるというのは、神をあがめる人ならだれでも持っている基本的な義務です。わたしたちは皆、兄弟姉妹ですから、宗教や社会哲学、国籍、種族、性別、経歴にかかわらず、互いに仕え、高め、与え合い、苦難を和らげるのです」と、討議に参加した

LDS 慈善事業団ディレクターのシャロン・ユーバンク姉妹は語った。

また、ユーバンク姉妹は LDS 慈善事業団の目的は、苦難を和らげ、自立を育み、あらゆる国籍の人々に奉仕の機会を与えることであると述べた。主要な活動は、水の浄化、新生児蘇生法、眼科治療、車椅子の配付、予防接種、食糧、緊急時の対応などである。

末日聖徒のその他の参加者には、教会の広報国際関係部ニューヨーク事務所ディレクターのアフマド・コービット兄弟、国連において LDS 慈善事業団を代表するジョン・P・(フィル) コルトンおよびバーバラ・コルトン夫妻もいた。

コービット兄弟は協力し合うことが重要であると強調し、「世界中の宗教には善意ある人々」がいると述べた。コルトン兄弟は、LDS 慈善事業団がどのような取り組みにより 2013 年に 132 か国で約 200 万人を支援したか説明した。■

国連で開催された
パネルディスカッション
に参加する
教会の代表者



新伝道部会長が召される

大管長会は122名の新しい伝道部会長とその夫人たちを召した。彼らは2014年7月付けで各担当地域に赴任し、奉仕する。

フィリピンで慰めと支援を与える指導者たち

2月、台風ハイエンによりタクロバンが壊滅的な被害を受けてから100日後、中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹と中央若い女性会会長第一顧問のキャロル・F・マッコンキー姉妹が、支援と慰問のために被災地を訪問した。

「姉妹たちを抱き締めてあげなくてはと思いましたが」とバートン姉妹は述べた。「他にできることはあまりありませんが、タクロバンへ来て、できるだけ人々を抱きしめてあげなくては思いました。」

台風ハイエンはフィリピン中部の110万世帯以上を破壊した。42人の末日聖徒を含め、死者は6,200人を超えた。台風の後、教会は救援物資を送り、現地や国際的な組織と協力して食糧、シェルター、水の浄化、がれき処理、生活の立て直しを支援した。

バートン姉妹もマッコンキー姉妹も、聖徒たちの中に希望と前向きな姿勢が見られたと報告した。聖徒たちは互いに奉仕し合いながら、家を建て直し、証を強めている。

フィリピン・タクロバンステークセンターで 子供たちと話すキャロル・F・マッコンキー姉妹



台湾の会員に語るジェフリー・R・ホランド長老

多くの国々で 仕え、教え、導く使徒たち

十二使徒定員会の会員は世界各地の教会で、教導の業を続けている。最近の担当任務は下記のとおりである。

- ラッセル・M・ネルソン長老とニール・L・アンダーセン長老は、オーストラリア、ニュージーランド、フランス領ポリネシア、フィジー、ニューカレドニア、トンガ、パプアニューギニアの聖徒に勧告と導きを与えた。ネルソン長老は家族を強める必要性について語り、アンダーセン長老は会員たちに元気を出すよう励ました。アンダーセン長老は別の割り当てで、地震と台風の被害を受けたフィリピン地域の会員や地域指導者と会った。
- ダリン・H・オークス長老はメキシコシティー宣教師訓練センターを奉獻し、一生懸命学び、主に献身するよう、宣教師たちを励ました。
- M・ラッセル・バラード長老は、南アメリカ南地域の聖徒に「リーハイの息子娘たちの時代が開いている」と述べた。

南アメリカには450万人の会員がおり、14の神殿がある。これは、南米が教会で大きな勢力になると預言した祖父のメルビン・J・バラード長老(1873-1939年)の言葉が成就したことを示す。

- ジェフリー・R・ホランド長老は台湾と香港^{ホンコン}の会員に、できる限り頻繁に神殿に参入することにより、神殿を生活の一部にするよう勧めた。
- デビッド・A・ベドナー長老はウガンダの末日聖徒に、彼らが自国の教会を築く開拓者であることを思い起こさせた。また、ケニアの会員には、家庭で絶えず愛を示すことの大切さについて想起させた。
- クエンティン・L・クック長老は中央アメリカの会員に、神と会員同士と隣人に仕えることの大切さについて教えた。

使徒たちの務めについて、さらに詳しく知りたい方は、lds.org/prophets-and-apostles?lang=jpn にアクセスしてください。■



ブラジルにおける教会

— ついに成就した預言

マーク・L・グローバー

ブリガム・ヤング大学、ラテンアメリカ研究の退官教授

ブラジルは、国土面積と人口の両方において、世界で5番目に大きい国です。しかし100年前、その人口はまだわずかで、熱帯性気候、肥沃な土地、そして豊かな鉱物資源や水などの、豊富な天然資源を利用する人はほとんどいませんでした。

マックスとアマリエのツアップ夫妻はブラジルに魅せられ、ブラジルに定住することに決めました。彼らは1908年にドイツで教会に入り、1913年3月にブラジルに移住しました。ブラジルで生活する、記録上の最初の教会員となった彼らは、自分たちが非常に多くの可能性を秘めた国にいることに心を躍らせていました。しかし、教会はまだ南アメリカには設立されていませんでした。程なくして、二人は教会に出席できないこと、会員と交わる特権がないことを非常に寂しく感じるようになりました。¹

ブラジルに移住してから10年後、ツアップ夫妻は、もう一人の忠実な教会員であるオーガスタ・リップルトと知り合いになりました。1923年、彼女は会員ではない夫と4人の子供とともにドイツからブラジル南部の州であるサンタ・カタリーナに移住していました。ツアップ家族は、リップルト家族の近くに住むために同じ州に引っ越しました。

その2年後、アルゼンチンのブエノスアイレスに南アメリカ伝道部が開設されました。2代目のK・B・レインフォールド・ストーフ伝道部会長もドイツ出身で、ブラジル南部にある、ドイツ人移住者が多数居住している地域に教会を設立するよう靈感を受けました。1928年に、ドイツ人の移住者が大勢いるジョインヴィレ市にウィリアム・フレッド・ハインツ長老とエミル・A・J・シンドラー長老の二人の宣教師を派遣しました。1930年にストーフ会長はツアップ家族とリップルト家族を訪れて支部を設立したので、この二つの家族はようやく一緒に教会に出席し聖餐を受けることができるようになりました。

100年の歳月は何と大きな変化をもたらしたことでしょう。ツアップ家族が1913年に移住する前、ブラジルには、会員も、宣教師も、教会の組織も存在しませんでした。今日、ブラジルには100万人以上の会員が居住し、アメリカ合衆国とメキシコに続いて、3番目に



1930年代後半にリオデジャネイロで奉仕していた宣教師たち。モルモン書をポルトガル語に翻訳する助けをしたダニエル・シューペの姿も見られる。

より、退去しなければなりません。戦後、戻って来た宣教師によって、主の業が再開されました。

サンパウロ州カンピナス市で教会に入った数人の若い男性と女性が、その後も忠実であり続けました。そのような初期の会員の中に、アントニオ・カルロス・カマルゴがいました。1947年、10代のとき教会に入った彼は、教会員とデートして結婚し、1954年にブリガム・ヤング大学に入学し、その後ユタ大学に通いました。1963年、織物の会社で働くためにブラジルに戻ったとき、カマルゴ夫妻は教会の成長に目を見張りました。彼らが1954年にブラジルを去ったときは、アメリカ人の宣教師が管理する小さな支部が幾つかあるだけでしたが、ブラジルを離れていた9年間に、1万6,000人近くの

歴史年表

1928年——
ブラジル、
ジョインヴィレの
ドイツ系移民居住地に
最初の宣教師が
派遣される。

1930年——
ジョインヴィレに
最初の支部が
組織される。

▼ 1931年——南アメリカで最初の
教会所有の集会所がジョインヴィレ
に建てられる。



▶ 1935年——
サンパウロを
本部とする
最初の伝道部が
設立される。



教会員が多い国になりました。現在教会の会員は、ブラジルの全ての州と大都市にいます。ツアップ家の子孫は、他に類を見ない魅力的な歴史を持つ、強くて活気に満ちた教会の恩恵を享受しているのです。

かしの木のように成長する

1926年、十二使徒定員会のメルビン・J・バラード長老はアルゼンチンにおいて、この地域の成長は最初はゆっくりとしたものであるがいつの日か力強いものとなると、以下のように預言しました。「主の業は、ちょうどかしの木がどんぐりからゆっくりと成長するように、しばらくの間、ゆっくりとした成長を遂げるでしょう。素早く成長してすぐに枯れてしまうまわりのように、一日にして急激に成長するものではありません。」²

ブラジル伝道部は1935年に開設されましたが、初期の頃に教会に加入した会員はほんのわずかでした。国の公用語がポルトガル語に変更になった1940年までは、ブラジルの教会では主にドイツ語が使われていました。国中の数多くの都市で奉仕していた宣教師は、第二次世界大戦の勃発に

ブラジル人が教会に加わっていたのです。その中には、強い指導力と忠実な決意を持った若い家族が多くいました。アントニオはこう述べています。「彼らは、ここサンパウロで主が選ばれた偉大で高潔な霊たちです。」³

ブラジル伝道部が開設されてから31年後の1966年、南アメリカで最初のステーキがサンパウロに組織されました。当時、十二使徒定員会の会員であったスペンサー・W・キンボール長老（1895 - 1985年）は、ワルター・スパートを会長とし、アントニオを第二顧問としてステーキを組織しました。

新しい指導者のうち、ステーキの組織を経験したことのある人はほんのわずかでした。しかし、主はアントニオを備えておられました。彼はアメリカ合衆国内の教会で豊富な経験を積んでいたため、ステーキ会長会を支えることができたのです。この最初のステーキ内のワードや支部の指導者の中から、後に組織される多くのステーキで働く指導者が輩出しました。幾つものステーキが驚くべき早さで組織されるに従って、彼らの影響力は国全体に広がっていきました。

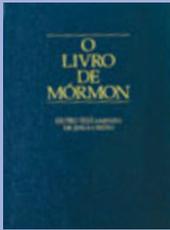
成長の時代

だれも予期しなかった発表が、ブラジルの教会のさらなる成長を促しました。それは神殿の建設です。会員は神殿の大切さを理解していましたが、会員のほとんどは写真でしか神殿を見たことがありませんでした。最も近い神殿はアメリカ合衆国にあり、数千マイル（訳注——1,000マイルは約1,600キロ）も離れていました。キンボール大管長は1975年にブラジルを訪れ、地区大会において、サンパウロに神殿を建設することを発表しました。大きな期待と財政的な犠牲の下で、1978年に神殿が完成しました。会員は献金を通して神殿の建築資金を賄う手助けをしました。多くの会員は、自分の車やアクセサリ類、または土地を売って献金に充てました。

後地元の教会の指導者になりました。

しかし、教会が成長するにつれて、会員の経験不足という新たな課題が浮き彫りになりました。ところがこの課題が前向きな結果を生み出すことになります。会員にとって、さらに信仰を増し加え、霊的な導きを求めることが必要となったからです。例えば、1992年11月に、すでに幾つかのステークが確立されている地域から遠く離れた、ブラジル西部のウルグアイアナにステークが組織されました。教会に忠実で会員歴の長いホセ・カンデイド・フェレイラ・ドス・サントスは、新設されたステークの祝福師に召されたとき、心配して中央幹部にこう述べました。「わたしは祝福師にはなれません。祝福師が何であるか、まるで知らないのです。祝福

▶ 1939年——
モルモン書が
ポルトガル語で
出版される。



1954年——
教会の大管長
(デビッド・O・
マッケイ) が初めて
ブラジルを訪れる。

1959年——
2番目の
伝道部が
組織される。

1966年——
南アメリカで
最初のステークである
サンパウロ・
ブラジルステークが
組織される。

▶ 1978年——
サンパウロに
南アメリカで
最初の神殿が
奉獻される。



1878年10月から11月にかけての神殿の奉獻に先立って、神権に関する啓示が6月に与えられました（公式の宣言二参照）。この啓示は、ブラジルの全てのふさわしい会員は神殿の奉獻式に参加し、その祝福にあずかることができることを意味しました。

神権に関する啓示が与えられたことと神殿が奉獻されたことは、教会において最も大いなる伝道の成功の一つを生み出すきっかけとなりました。その後の20年間に、70万人以上のブラジル人が教会に加わったのです。

他にも幾つかの出来事がこの成長に拍車を掛けました。ブラジルは政治的、社会的な変革のただ中にあり、それが教会の成長を後押ししたのです。多くのブラジル人は都市部に移動していて、新しい宗教に対して以前より心を開くようになっていました。それと同時に、キンボール大管長は、伝道に召されて奉仕するブラジル人の青少年の数を増やす目標を設定するようにステーク会長に求めました。程なくして、ブラジルで奉仕する宣教師の半分以上を、ブラジル出身者が占めるようになりました。これらの帰還宣教師は、その

師に会ったこともありませんし、自分の祝福師の祝福さえも受けてはいないのです。」中央幹部は解決方法を提案しました。隣り町のアレグレッテにルイ・アントニオ・ダビラという新しい祝福師が最近召されたのですが、彼も同じ状況にありました。二人の祝福師がお互いに祝福師の祝福を授ける必要があったのです。

サントス兄弟がダビラ兄弟から祝福を受けているとき、自分の過去に関して、またダビラ兄弟が知るはずのない個人的な望みに関して祝福が授けられるのを聞いて、驚きました。次にサントス兄弟がダビラ兄弟の頭に手を置いて祝福を授けたとき、同じことが起こり、再び涙があふれました。その後、この二人の男性は、今まさに起こったことに深い理解を示して抱き合いました。⁴ ちょうど御霊が二人に靈感を与えて最初の祝福を授けたように、御霊から靈感を受けて100人以上の会員に祝福を授けることになりました。教会での経験が不足している国において、主はそのような霊的な祝福を数多くお与えになったのです。



永代教育基金

会員の間に見られる教育の欠如は、もう一つの課題でした。宣教師が帰還したとき、多くの場合、霊的には備えられているものの、適切な仕事に就くための教育に欠けていました。サンパウロのレイナルド・パレットステーキ会長は、こう説明しています。「仕事を見つけるのは至難の業でした。進歩成長する希望を失ったり、伝道中に培った霊的な強ささえも失ったりする宣教師がたくさんいました。」多くの場合、教育がこの課題を克服する鍵^{かぎ}でした。

数だけではなく、福音に対する献身にも表れています。例えば、航空会社の管理者であったゲルソン・ピツィラーニは定年退職後、やりがいのある高収入の仕事の誘いを受けました。それはブラジルで新たな航空会社の設立を助ける仕事でした。しかし同じときに、彼と妻のミリアムは、ブラジルのブラジリア伝道部を管理するように召されました。何を選択するかについて疑問の余地はありません。10代でバプテスマを受けて以来、彼らは自分の人生を教会にささげてきました。結婚する前にピツィラーニ兄弟は支部会長として



◀ 1985年 — エリオ・R・カマルゴ長老がブラジル出身の最初の中央幹部となる。

1986年 — ブラジルが世界で4番目に、50以上のステーキを擁する国となる。

1987年 — ブラジル地域が作られる。

1993年 — ブラジルが世界で3番目に、100のステーキを擁する国となる。



◀ 1997年 — 教会で2番目に大きい宣教師訓練センターがサンパウロに建てられる。



この事態を打開したのは、2001年にゴードン・B・ヒンクレイ大管長により創設された永代教育基金です。それにより、何千人というブラジル人帰還宣教師が祝福を受けることになりました。この基金により訓練を受ける機会に恵まれ、より良い仕事に就くことができるようになりました。会員はさらによく家族を養えるようになり、さらに高い教育を受けることさえできたのです。ブラジルの永代教育基金の管理者となったパレット会長はこう述べています。「若い会員が教育を修了し、良い仕事に就くことを見るのは祝福ですが、このプログラムの本当の成功は、彼らがより大きな自信を得るのを見ることです。彼らはさらに大いなる希望を抱いています。」⁵

献身的な会員たち

ブラジルにおける教会の強さは単に会員の

1999年以來、数千人のブラジル人会員が、モルモンヘルピングハンス活動の一環として地域社会で奉仕した。



奉仕するように召されました。25歳のときにステーキ会長に召され、その後も地域七十人を含むたくさんの召しを受けてきました。ピツィラーニ姉妹は、ステーキとワードの扶助協会、若い女性、初等協会の召しを受けて奉仕しました。彼女は、福音の祝福に関する思いをこう表現しています。「わたしの人生は、戒めを守ろうと努力したことから、大きな祝福を受けてきました。わたしは戒めを守るたびに、祝福を受けています。」⁶

ブラジリアでの伝道を終えた二人は、家に戻って落ち着いた生活を送ろうと計画していましたが、ブラジル・カンピナス伝道部の会長として短期間奉仕するようという召しを受けたため、その計画は一時中断されました。数か月



▲ 2000年——ブラジル・レシフェ神殿とブラジル・ポルトアレグレ神殿が奉獻される。

2002年——
ブラジル・
カンピナス神殿が
奉獻される。

2002年——
モルモンヘルピングハンズが、
ブラジルで最も重要な
ボランティア組織の一つ
として国の表彰を受ける。



◀ 2008年——
ブラジル・
クリティバ神殿が
奉獻される。



▲ 2012年——ブラジル・マナウス神殿が奉獻される。

休んだ後、今度は2013年に、ブラジル・レシフェ神殿会長とメイトロンとしての召しを受けました。ピツィラーニ兄弟にバプテスマを施した宣教師の一人が、最近妻とともにレシフェ神殿で奉仕するよう召されたため、宣教師とその改宗者が一緒に奉仕することになったのです。

仕事の機会をなげうってでも主に仕えるというピツィラーニ夫妻の模範はすばらしいものですが、ブラジルの忠実な会員の間では珍しいことではありません。

ツァップ家族がブラジルに着いてから100年、その間に多くのすばらしい変化が起りましたが、時には停滞の時期もありました。しかし、ブラジルを訪れた預言者たちは、この国の将来に対して信仰を表すことを決してためらいませんでした。ブラジルが経済的な成長と発展において世界のリーダーの地位を占めつつある今、これらの預言が現実のものとなっているのです。ツァップ家族の子孫は、実の子孫も、彼らの福音の歩みに続く人々も含めて、初期の時代に福音の種を植えるために努力した彼らの熱心な働きと忍耐の恩恵を受けているのです。1926年にメルビン・J・バラード

ブラジルにおける会員数の推移

1935年	1938年	1948年	1958年	1968年	1978年	1988年	1998年	2008年	2013年	ブラジルに関する教会の統計*
148人	216人	536人	1,454人	31,635人	54,410人	265,286人	703,210人	1,060,556人	1,239,166人	会員総数—— 123万9,166人
										ステーク数——242
										伝道部数——32
										神殿数—— 儀式が行われて いる神殿 6 建築中の神殿 2

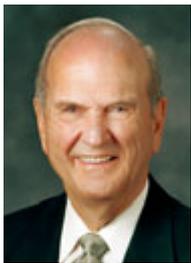


* 2013年11月現在

長老が預言した次の言葉は既に成就しています。「何千人もの人々がこの教会に加わるでしょう。複数の伝道部が設けられ、教会の中で最も堅固な地域の一つとなるでしょう。」■

注

- シビラ・ハック・スネス (マックス・ツァップとアマリエ・ツァップの孫娘)。マイケル・ランドンによるインタビューから、2004年7月30日、ブラジル、クリティバにて。教会歴史図書館。
- メルビン・J・バラード、ブライアント・S・ヒンクレイ、*Sermons and Missionary Services of Melvin Joseph Ballard* (1949年)、100で引用。
- アントニオ・カルロス・カマルゴ。マーク・L・グローバーによるインタビュー記事22ページから、2006年6月27日、ブラジル、サンパウロにて。ハロルド・B・リー図書館。
- ホセ・カンデド・フェレイラ・ドス・サントス。マーク・L・グローバーによるインタビューから、2010年5月4日、ブラジル、リオグランデ・ド・スルにて。ハロルド・B・リー図書館；ルイ・アントニオ・ダビラ。マーク・L・グローバーによるインタビューから、2010年5月5日、ブラジル、リオグランデ・ド・スルにて。ハロルド・B・リー図書館。
- レイナルド・デ・ソウザ・バレット。マーク・L・グローバーによるインタビュー記事14ページから、2006年6月16日、ブラジル、サンパウロにて。ハロルド・B・リー図書館。
- ミリアム・ダ・シルバ・スーレ・ピツィラーニ。マーク・L・グローバーによるインタビュー記事7ページより、1982年3月21日、ブラジル、サンパウロにて。ハロルド・B・リー図書館。



十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老

モルモン書、 イスラエルの集合、 そして再臨

モルモン書が世に出るといことは、主がイスラエルを集め、
アブラハム、イサク、ヤコブと交わした聖約を成就する業を始められたという、
全世界に対する具体的なしるしです。

『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』の第5章は、全体を通して、
モルモン書のこと書かれています。この章はモルモン書について以下のことを教えて
います。

- わたしたちの宗教のかなめ石である。
- イエス・キリストについて証する。
- 聖書を裏付ける。
- 人生の質問に答えてくれる。
- 人々を神に近づける。



こうした主張は全て紛れもない真実ですが、死すべき人間としての視点から行われたものです。では、天の御父とその愛する御子イエス・キリストはモルモン書をどのように見ておられるでしょうか。

その視点は、御二方がずっと以前に全人類と交わされた二つの約束から成っています。この二つの約束は相互に関連し合い、十分な裏付けがあり、今も有効で、これから成就されなければならないものです。一つ目は散らされたイスラエルを集めるといふ古代の約束です。二つ目はいにしえからの主の再臨についての約束です。

アブラハムの聖約とイスラエルの家

アブラハムの神権時代に、神は父祖アブラハムと聖約を結ばれました。それはアブラハムの子孫により全ての国民は祝福されるというものでした。その約束に付随する重要な

事柄も与えられました。こうした約束は、最初にアブラハムに与えられ、後になってイサクとヤコブに再確認されました。それには以下の事柄が含まれていました。

- 多くの子孫に恵まれる。¹
- ある土地を受け継ぐ。²
- アブラハムの子孫は、彼らの子孫を通して全ての国民が祝福を受けるように、全ての国民に神権を携えて行く民となる。³
- アブラハムの子孫でなくとも、福音を受け入れる人々は養子としてアブラハムの子孫となる。⁴
- 世の救い主は、アブラハムの子孫から生まれる。⁵

アブラハムの子孫——古代イスラエルの部族——の多くは、最終的には主の教えを拒絶し、預言者を殺しました。十支族はアッシリヤに捕囚され、そこで記録は途絶えています。



ただし、主にとってこの十支族は「行方知れず」ではありません。二支族はその後少し続きましたが、背きのためにバビロンに捕囚されました。戻って来ると、主の厚い恵みを受けましたが、再び主を拒みました。

イスラエルの散乱と集合

愛しながらも悲しみつつ、御父はイスラエルを世界中に散らされました。しかしつか再び群れに集められるという約束をされました。この約束は、イスラエルを散らすという約束と同様強いものでした。⁶ 例えばイザヤは、末の日に主は、散らされ、はぎ取られたこれらの人々に「とく走る使者」を送られるのを予見されました（イザヤ 18：2, 7）。

預言されたように、全てのものはこの神権時代に回復されます。ですから、その回復の一部として、待ち望まれてきたイスラエルの集合が起こらなければなりません。イスラエルの集合は二つ目の約束と関連しています。⁷ なぜなら集合は主の再臨の前に必要な前触れだからです。繰り返しになりますが、天の視点は常に明らかです。⁸

この集合の概念は末日聖徒イエス・キリスト教会の重要な教えの一つです。主は次のように宣言されました。「わたしが自分の民、イスラエルの家を長年の離散した状態から



集めて、彼らの中に再びわたしのシオンを設ける時を、あなたがたが知ることのできるように、一つのしるしをあなたがたに示そう。」（3 ニーファイ 21：1）

モルモン書が世に出るということは、主がイスラエルを集め、アブラハム、イサク、ヤコブと交わした聖約を成就する業を始められたという、全世界に対する具体的なしるしです。⁹ わたしたちはこの概念を教えるだけでなく、実行するのです。わたしたちが幕の両側で主の選民を集める助け手として働くとき、そうしていることになります。

幸いなことに、「キリストのもとに来〔るように〕」（モルモン書ヤコブ 1：7）¹⁰ という招きは、福音の知識なくして亡くなった人々にも差し伸べられているのです。¹¹ 幕のかなたに住む人々の身代わりの準備の一部には、幕のこちら側に住む人々の努力が必要です。系図を集め、「家族の記録」を作成し、人を主のもとに、そして家族のもとに集めるために神殿において身代わりの業を行います。¹²

この時満ちる神権時代は、天と地における集合の時として神により予見されていました。使徒ペテロは背教の後回復が起こるのを知っていました。ペテロは、次のように宣言しました。

「だから、自分の罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい。それは、主のみ前から慰めの時が〔来るためである〕。……

このイエスは、神が聖なる預言者たちの口をとおして、昔から預言しておられた万物更新の時まで、天にとどめておかれねばならなかった。」（使徒 3：19, 21）

今日、^{こんにち}ペテロ、ヤコブ、ヨハネは「終わりの時代のために、また……時満ちる時代のために、〔主〕の王国の鍵と福音の神権時代」とともに主から遣わされました。その中で主は「天にあるものと地にあるものすべてを一つに集め」ます（教義と聖約 27：13）。¹³

アブラハムの聖約の多くは既に成就しています。世の救い主はアブラハムの子孫であるヤコブの息子ユダを通してお生まれになりました。地ははるか昔からアブラハムの子孫が受け継ぐように割り当てられました。聖書の地図（末日聖徒版）は、ルベン、シメオン、ユダ、イッサカル、ゼブルン、ダン、ナフタリ、ガド、アセル、ベニヤミン、そして（息子エフライム



とマナセに分かれる) ヨセフの子孫の間で、部族に受け継がれた地がどのように分割されたかを表しています。¹⁴ 聖地におけるヨセフの受け継ぎに加えて、モルモン書を読むと、ヨセフの家の残りの者にとって受け継ぎの地はアメリカだということが分かります。¹⁵

全ての国民がアブラハム、イサク、ヤコブの子孫により祝福されるという偉大な約束は、まだ成就していないものがあります。聖文に書かれたこの集合の約束はイスラエルの散乱の預言と同様に確かに成就するでしょう。¹⁶

再臨の前触れであるイスラエルの集合

集合のこの約束はなぜそれほど重要なのでしょう。それは主の再臨に世を備えるために必要だからです。そしてモルモン書は神のこれらの目的の両方を達成するために必要な神の道具なのです。¹⁷

モルモン書は全世界への神からの贈り物です。これは主が真実であると証された唯一の書物です。¹⁸ ニーファイ、ヤコブ、モルモン、モロナイ、そして靈感に満ち、殉教した、この

書物の翻訳者である預言者ジョセフ・スミスからの贈り物であり、イスラエルの家の残りの者に向けた書物でもあるのです。¹⁹

再臨について分かっているのは「もう近づいて[いる]」ということです(教義と聖約 63:53)。救い主が再び来られる時、それはひそかに行われるものではありません。²⁰ 栄えある再臨に備え、イスラエルの集合のために多くのことを行い、世を備えなければなりません。

この神権時代におけるイスラエルの集合

モルモン書のおかげで、この約束された集合がいつ起こるかをわたしたちは知っています。「それで父は、末日に成就する聖約について触れながら、わたしたちの子孫のことだけでなく、イスラエルの家に属するすべての者についても語ったのです。その聖約とは、主がわたしたちの先祖アブラハムに立てられたもので、主は『あなたの子孫により、地のすべての部族は祝福を受けるであろう』と言われました。』(1 ニーファイ 15:18, 強調付加)

どこにいても聖徒たちは主の祝福を受ける等しい権利があります。霊的な安全は常にどこで生活するかではなく、どのように生活するかにかかっています。



**神殿でわたしたちは、
アブラハム、イサク、ヤコブ
の子孫に約束された
究極の至高の祝福を
受けます。**

イエスがベツレヘムにお生まれになる約600年も前に、預言者たちはイスラエルの集合が「この末日に」起こることを知っていたのです。

末日聖徒にとって、アブラハムの名誉ある名前は重要です。教会の全ての会員はアブラハムにつながっています。²¹ 今日、主は預言者ジョセフ・スミスを通して、アブラハムの聖約を明言しておられます。²² 神殿ではアブラハム、イサク、ヤコブの子孫に約束された究極の、至高の祝福をわたしたちは受けます。²³

わたしたちは天の視点を持つ必要があります。アブラハムの聖約を知り、約束されたイスラエルの集合をもたらす助け手として働く責任を理解しなければなりません。祝福師の祝福を受ける特権がある理由や古代の祝福師へのつながりを学ぶ必要があります。ルベンが長子の特権を失った後に、ヤコブの息子のヨセフがそれを受けたことを知る必要があります。²⁴ ヨセフとその息子エフライムとマナセはイスラエルの集合を導く子孫となり、²⁵ その他の支族はそれに従う者たちとなりました。

主の回復された教会に神権の鍵をもたらした天の使者について考えてみてください。1836年4月3日、主がカートランド神殿を受け入れられた後、モーセが現れ、「イスラエルの集合……の鍵」を回復しました（教義と聖約110:11）。次に、「エライアスが現れ、わたしたちと子孫によってわたしたちの後の時代のすべての者が祝福を受けるであろうと述べて、アブラハムの福音の神権時代をゆだねた。」（教義と聖約110:12） そのようにアブラハムの聖約は回復の一部として更新されたのです。その後エリヤが現れ、マラキによって預言された結び固めの権能の鍵を回復しました。²⁶ これらの鍵は、集合したイスラエルの家族の結び固めに必要で、永遠の命という最も偉大な祝福を享受するために必要でした。

御父と御子はモルモン書をどのように見ておられるでしょうか。御双方はそれをジョセフ・スミスの預言者としての召しのしるしとして見ておられ、人々がイエス・キリストについて深く知り、福音を信じ、教会に入るための道具として見ておられます。また、わたしたちと聖書の中

にあるイスラエルの家とのつながりを明らかにするものとして見ておられます。モルモン書は集合の幕開けを宣言するものであり、²⁷ 集合をもたらす神の道具です。モルモン書なしにイスラエルの集合はありません。²⁸

モルモン書には完全な福音があります。モルモン書なしには、イエス・キリストの贖罪しよくざいについてほとんど分からなかったでしょう。²⁹ 贖罪について教えてくれるので、モルモン書はわたしたちが悔い改め、聖約を交わし、守り、救いと昇栄の儀式にふさわしくなる助けとなります。モルモン書は、わたしたちを神殿に導きます。そこでわたしたちは永遠の命にふさわしくなることができます。

地上でも、わたしたちの行い全てに天の視点を持つことができます。その視点を持つと、伝道の業はイスラエルの集合にとって非常に重要であることが分かります。多くの国々で、宣教師たちは散らされたイスラエルを捜します。

シオンは義にかなった聖徒が集まるところです。³⁰ 様々な出版物、通信手段、集会により、ほぼ全ての会員は場所に関係なく福音の教義、鍵、儀式、祝福にあずかることができるようになりました。全世界の聖徒の便宜のため、143の神殿があり、これからも建設されます。³¹

どこにいても聖徒たちは主の祝福を受ける等しい権利があります。霊的な安全は常にどこで生活するかではなく、どのように生活するかにかかっています。

イスラエルの集合は究極の目標では**ありません**。それは始まりにすぎないのです。わたしたちが終わりまで堪え忍ぶための目標には、神殿で行われるエンダウメントと結び固めの儀式が含まれています。わたしたちが血統により、あるいは養子縁組により神と聖約を結び、神と家族とともに永遠に住めるようになることも含まれています。神の子供たちに永遠の命を与えることが神の栄光なのです。³²

この愛にあふれた天の御父は御自分の子供たちに強制ではなく個人の選択と備えにより、みもとに戻ってほしいと心から望んでおられます。そして彼らが永遠の家族として結び固められることを望んでおられます。

これが天の御父の視点であり、愛する御子の視点です。そして、それをわたしたちの視点とすることもできるのです。

プロボ宣教師訓練センターにおける新伝道部長セミナーで話された説教からの抜粋、2013年6月26日

注

- 1.創世 13:16; 22:17; アブラハム 3:14 参照
- 2.創世 12:1, 7; アブラハム 2:6 参照
- 3.アブラハム 2:9, 11 参照
- 4.ガラテヤ 3:26-29; アブラハム 2:10 参照
- 5.創世 49:10, 24 参照
- 6.イザヤ 11:12; 22:16-18; 3.ニューファイ 15:20-22; アブラハム 2:10-11 参照
- 7.1.ニューファイ 15:18 参照。モルモン書のタイトルページも参照
- 8.教義と聖約 133:8-17 参照
- 9.創世 12:2-3; 26:3-4; 35:11-12 参照。3.ニューファイ 21章と29章の前書きも参照
- 10.オムナイ 1:26; モロナイ 10:30, 32; 教義と聖約 20:59も参照
- 11.教義と聖約 137:5-8 参照
- 12.1.コリント 15:29; 1.ペテロ 4:6 参照
- 13.パウロはまた現代を「それは、時の満ちるに及んで実現されるご計画にほかならない。それによって、[主]は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめようとしたのである」と預言しています(エペソ 1:10)。
- 14.創世 35:23-26; 41:50-52 参照。レビの部族は祭司の職を与えられましたが、支族としては数えられず、その受け継ぎは持っていませんでした。ヨセフの二人の息子マナセとエフライムは受け継ぎの土地を与えられ、父ヨセフの代わりに支族として数えられました。十二支族はそうにして維持されたのです。
- 15.エテル 13:8 参照。創世 49:22も参照
- 16.レビ 26:44; 申命 4:27-31; 28章, 29章, 30:1-10; ネヘミヤ 1:9; イザヤ 11:11-12; エレミヤ 31:7-12; エゼキエル 37:21-22; アモス 9:14-15; マタイ 24:31; モルモン書ヤコブ 6:2 参照。ラッセル・M・ネルソン「出エジプトの再現」『リアホナ』2002年4月号, 30-39も参照。イスラエルの集合は、特に、イザヤ書第49章から51章とモルモン書ヤコブ第5章で予見されている。
- 17.マタイ 24:14; 教義と聖約 133:17 参照
- 18.教義と聖約 17:6 参照
- 19.モルモン 7:10; 9:37; モロナイ 10:31-34 参照
- 20.イザヤ 40:5 参照
- 21.聖約はまた養子縁組からも受けられる(マタイ 3:9; ルカ 3:8; ガラテヤ 4:5-7 参照)。
- 22.教義と聖約 124:58; 132:31-32 参照
- 23.教義と聖約 84:33-40; 132:19; アブラハム 2:11 参照
- 24.歴代上 5:1 参照
- 25.エフライムはイスラエルで全ての国民に回復のメッセージをもたらし、散乱したイスラエルの集合を導く生得権を与えられた(エレミヤ 31:7-9; 教義と聖約 64:36; 133:32-34 参照)。
- 26.教義と聖約 110:13-16 参照。マラキ 4:5-6も参照
- 27.イスラエルの家の散乱と集合に関する教義は、モルモン書の最初の部分にある(1.ニューファイ 10:14 参照)。
- 28.ブルース・R・マッコンキー, *A New Witness for the Articles of Faith* (1985年), 554
- 29.どのような形であれ、*atonement* という言葉は、新約聖書の欽定訳に1回しか出て来ない(ローマ 5:11 参照)。モルモン書には24回出て来る。
- 30.教義と聖約 97:21 参照
- 31.2014年5月時点
- 32.モーセ 1:39 参照



アンモン のように

モルモン書に登場するこの英雄は、
今日の伝道活動と活発化について多くのことを教えてくれます。

アンモンはモルモン書に登場する英雄であり、レーマン人の王ラモーナイの羊の群れを守るなど、勇敢な働きをしたことで知られています（アルマ 17:25 - 39:18:1 - 10 参照）。アンモンの話は、モルモン書に出て来る他の多くの話と同様、どうすればチャンスをつかえて、今日わたしたちが直面する問題を克服することができるかを教えてくれます。

有意義な伝道

アメリカ合衆国ニュージャージー州ミルビルに住むスザンヌ・E・タラセビッチ姉妹は、夫のアドルフと一緒に専任宣教師として奉仕しているときに、幾つかの教訓をアンモンから学びました。

彼女は次のように言っています。「伝道の召しの手紙の入った大きな白い封筒が郵便受けに届いたとき、夫とわたしは我を忘れて喜びました。この召しについて、わたしたちは断食して祈ってきました。伝道地がどこになるかを心配していたわけではありません。自分たちには召しを有意義に果たす能力があるという確証がどうしても欲しかったのです。

その晩、集まって来た子供たちと孫たちに囲まれて、わたしたちは封筒を開け、手紙を読みました。ポーランド・ワルシャワ伝道部への召しでした。読んでいて、わたしたちは心に平安を感じました。これは確かに、わたしたちに向けた召しでした。夫もわたしも大いに喜びました。」

ところが伝道部に到着してみると、タラセビッチ姉妹は自分が何に貢献できるのかが分からず、

悩みました。「夫にはすぐに責任が与えられました。指導者として働くという、やりがいがあり、成長できる機会が与えられたのです。夫もわたしもポーランド語は話せませんでしたが、夫は言葉の壁を物ともせず、に奉仕しているように見えました。」ところが、姉妹はそうではなく、こう言っています。「自分は役に立たないと感じて悩むことがよくあり、孤独でした。自分の伝道には意味があるのだろうか、疑問に思いました。」

力強い宣教師

タラセビッチ姉妹は、自分がモルモン書に出て来る偉大な宣教師たちのことを考えているのに気づきました。「長年初等協会の教師を務め、よくアルマやモーサヤの息子たちの話を交えて、伝道活動について子供たちに教えたものです。アルマやモーサヤの息子たちの話には、子供たちを奮い立たせ、動機づける力があるからです。宣教師のことを考えると、強くて力のあるアンモンの姿が頭に浮かびました。また、現代のモーサヤの息子のように伝道部で生き生きと働く若い宣教師たちの様子をすぐに思い浮かべることができました。しかし、わたしのような白髪のおばあさんがそのように活躍することを望むなど、謙遜さの欠如の表れではないかと思ったのです。」

こう考えているときに、心の声が彼女に優しく



いなくなった一人を見つける

「わたしたち一人一人が、迷い出た人がどのような気持ちを感じているか、また、いなくなった一人を見つけるために99人を残して行く『霊的な』羊飼いになるとはどういうことか深く考えることが大切です。そのような羊飼いは、捜索救助隊の専門技術と援助を必要とするかもしれませんが、現場にいて、いつでも手助けできる状態で救助隊のすぐ傍らを登って行きます。彼らは神の目に無限の価値を持つ人々を救うためにそうするのです。その人々が神の子供だからです。」

十二使徒定員会
L・トム・ペリー長老
「人々をわたしのものと
連れて来なさい」
『リアホナ』
2009年5月号, 112

こう問いかけてきました。

「アンモンに最初に任された仕事は何でしたか。」

「僕^{しもべ}になって群れの世話をし、散らされた羊を集めることでした」と彼女は答えました。

「それでは、あなたはアンモンになりなさい。」

奉仕する備え

この心の声から、タラセビッチ姉妹はヒントを得ました。そして、こう言っています。「突然、自分の務めは何であるのかが、はっきりと分かりました。自分はまだ伝道できるほど満足に言葉を覚えてはいませんが、長年の扶助協会での経験を生かして人に奉仕する備えができていくことに気づきました。忘れられたと感じている人、人の輪に入れないと感じている人を探し、見つけ出して愛することが、わたしにはできるのです。」

タラセビッチ姉妹は自分の伝道を新たな視点から見るようになりました。「キリストを中心

にした原則に従えば、言葉がうまく話せないという弱さを克服する方法は幾らでもあることに気づきました。群れの世話をし、散らされた羊を集めるために自分は何ができるかが分かってきたのです。」

さらに、彼女はこう言っています。「福音を受け入れた人たちの生活が福音によって変わり、豊かになっていくのを見るにつけ、シニア宣教師としての生活は、学び、奉仕するすばらしい期間だと思えるようになりました。」こうして彼女は、個人的に「アンモンの賛美歌」と呼んでいる言葉を歌いたくなるような気持ちをしばしば感じたのです。「見よ、わたしの喜びは満ちており、胸は喜びでいっぱいである。だから、わたしは主にあって喜ぼう。」(アルマ 26:11)

羊を救う

アメリカ合衆国ユタ州サウスウィーバーに住むベギー・ウォレス・ポール姉妹は、救助と

全ての人を愛で養うことは、
アンモンの模範に従う
すばらしい方法です。





活発化についてステーキの神権指導者と補助組織指導者が集まる訓練集会でレッスンをする割り当てを受けたとき、アンモンのお話が大きな助けになりました。

ポール姉妹はこう言っています。「おなじみのアンモンの話を読んで、新たに気づいたことがあります。アンモンがレーマン人の中で伝道に携わっていることを思い出してください。王の羊の世話をする務めを与えられていました。他にも一緒に働く僕たちがおり、彼らが水を飲ませるためにセブスに羊を連れて行くと、強盗たちがその羊の群れを散らします。このことで他の僕たちはひどくおびえます。かつて羊を散らされた者たちが処刑されたことは知られており、今や彼らが同じ運命をたどることは明らかです（アルマ 17：25 - 30 参照）。

しかし、アンモンはそこにチャンスを見いだします。そして、自分に計画があるので元気を出すように他の僕たちに告げます。アルマ書第 17 章 31 節から 33 節を読んでください。その計画が分かりやすく説明されています。

1. 羊が見当たらないことのできるだけ早く気づく。
2. 『大急ぎで走って行〔く〕。』
3. 羊を集める。
4. 羊を群れに安全に連れ戻す。
5. 羊を囲んで安全に守り、愛によって養う。』

ポール姉妹は、この話を活発化にどのように当てはめられるかを実感したと言います。今日、アンモンの話を、方々に散っている会員たちを救助する教会指導者の象徴と見ることができます。強盗のように、福音の善い言葉から会員を引き離す影響が世の中には数多くあります。主にとって貴い人々の一人が群れからいなくなっているとき、わたしたちは気を配り、素早く行動を起こさなければなりません。

ポール姉妹は、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）の次の言葉を引用しています。「わたしには今、望み、祈っていることがあります。……皆さん一人一人に、困っている人、苦しみを抱えて困難な境遇にある人を見つけ、愛の心をもって教会に導く決心をしていただきたいのです。そしてその人たちが、教会員の力強い手と優しい心によって温かく迎えられ、慰められ、支えられ、幸福で実り多い道を歩めるようにしてほしいのです。」¹ ■

注

1. ゴードン・B・ヒンクレー「援助の手を差し伸べる」『聖徒の道』1997 年 1 月号、99 参照

アミュレクからも学ぶことができる

アミュレクもモルモン書に出て来る偉大な英雄です。義の道に戻るときに人はどう変わることができるかを教えてくれます。

裕福で、著名な人物であったアミュレクは、神の奥義と力を目にしていたにもかかわらず、心をかたくなにしていました。「幾度となく呼ばれたが、わたしは聞こうとしなかった。だからわたしは、これらのことについて知っていながら、知りたいと思わなかった」と言っています（アルマ 10：6。4 - 5 節も参照）。

しかし主は、預言者アルマを家に迎え入れるようアミュレクに告げるために、天使を遣わされます。そこで、アミュレクはアルマに食べ物を与えます。そして、アルマはアミュレクとその家族に祝福を授け、教えを伝えます。その後、アミュレクはアルマとともに教導の業に携わり、福音が真実であることを証する第 2 の力強い証人となるのです（アルマ 10：7 - 12 参照）。

アミュレクはアルマの同僚になって人々に悔い改めを叫び、大いなる力と権能をもって福音を宣べ伝え、そのことに人々は驚きます（アルマ 11：46 参照）。アルマとアミュレクは縛られて牢に入れられますが、奇跡的な方法で逃れます。そして、シドンに教会を設立し、後に全地で福音を教えます（アルマ 14 章；15 章；31 章参照）。

今日の教会には、アミュレクと同じように、教会に戻れば、主が祝福してくださること、また真理の力強い証人になれることに気づくと思われる人が大勢います。」

ヤングアダルトの 子供を持つ親への 10の助言

認定心理士
ウェンディー・ウルリヒ

夫とわたしは、子供たちが大学の寮に入るのを手伝ったときや、宣教師訓練センターに入るのを助けたとき、悲しみと解放感の入り混じった気持ちを感じました。彼らは、そしてわたしたちも、ようやく「終わった」と思ったのです。ところが間もなく、子供たちが新たな能力と自由を得るのに伴い、さらなる問題に直面することになったのを、わたしたちは知りました。わたしたちは彼らの生活に直接口出しすることはなくなりましたが、実際には、彼らへの支援、しかも以前と違う形での支援がますます必要になったのです。



こんにち 今日の 様々な問題

今日の世界でヤングアダルトは次のような様々な問題に直面しており、親もまたその問題に関連して様々な疑問を抱いています。



長い独身生活。 家族を持つのを先延ばしにする社会的傾向があり、ヤングアダルトの中には、永久に若くいられるかのように思っている人がいます。そのほかに、自分はいつか結婚するのだろうか、子供を持てるのだろうかと思い、ストレスを感じている人もいます。わたしたちは親として、彼らが永遠の展望を持てるように、どのように助けることができるでしょうか。

経済的な不安。 今日のヤングアダルトの多くは、経済的に親と肩を並べられないかもしれません。大学の学位を取得しても就職するのが難しい、あるいは家族を養うのが難しいと感じるかもしれません。わたしたちは親として、経済的な助けを与えるべきでしょうか。それとも、子供たちが自分の家計をやりくりすることで成長すると思えばよいのでしょうか。





圧倒されるばかりの選択肢。

今日のヤングアダルトは、かつてないほど多種多様な職業の中から仕事を選ぶことができます。ところが時折、そのような全ての選択によって押しつぶされそうに感じることがあります。成人している子供たちが幾つかの選択肢を検討し、やりがいのある仕事を選べるように、親はどのように助けることができるのでしょうか。

親との同居。 既婚か未婚にかかわらず、親と同居する18歳から34歳のヤングアダルトの数が増加しています。成人している子供たちがその親と同居する場合、誰が食費を出すか、孫のしつけをどうするかなど、数々の取り決めを適切に行うにはどうすればよいでしょうか。



こんにちは
今日の世界には様々な問題がありますが、親は、義にかなった支援と導きを与えることによって、ヤングアダルトの子供たちに祝福をもたらし続けることができます。



宗教。 今日、1世代前には見られなかったほどに、全ての宗教で教会に加入するヤングアダルトが少なくなっています。わたしたちは親として、成人している子供たちが教会に活発に集い続けるように、どのような方法で促すことができるでしょうか。彼らが教会の活動に参加しなくなっている場合、どのように霊的に支えることができるでしょうか。

親のための指針

成人している子供たちがある種の能力や功績の面でわたしたちを超えているとしても、彼らは世を渡っていくために親の支援が必要であり、それを受けてしかるべきです。次の10の指針を考慮するとよいでしょう。

1. あなたの子供たちが望んでおり、大切に思っている事柄を知る。 ヤングアダルトの子供たちに必要だとあなたが思っているものを手に入れる方法を彼らに告げるのではなく、*彼ら*の価値観と目標と夢について尋ねてください。そうすれば、彼らは目的を達成する方法を計画する助けをあなたに求めてくるかもしれません。その場合、*彼ら*の夢をかなえるのに役立つ会話をしましょう。良い点と改めるべき点を検討し、祈って導きを求め、話し合いを続けてください。彼ら自身が自分の望んでいる事柄が分からなければ、カウンセラーに会うか、職業の適性試験を受けるか、仕事やボランティア活動を通じてもっと多くのことを経験するように彼らに勧めてください。

2. よく祈って教義と聖約第121章34節から46節を研究する。 これらの節は母親と父親にそのまま当てはまるものであり、成人している子供たちに義にかなった導きを与える方法に関して正しい原則を教えています。

3. 多くのヤングアダルトとの関係に心を向ける。 他の人々の子供たちはあなたが20代と30代の時期をどのように乗り越えたかに興味を持っているということを、あなたは感じるかもしれません。ヤングアダルトは、自分よりも年上の成人がどのようにして競合する事柄の優先順位のバランス

を取り、どのようにして職業を選び、どのようにして配偶者を見つける機会を得たかに非常に興味があります。あなたはこれらのヤングアダルトと交流するとき、その世代が直面する様々な問題をもっとよく理解するようになるでしょう。

4. 賜物^{たまもの}をはっきりと告げる。 ヤングアダルトが彼ら自身の才能と関心事に気づけるようにすることは、彼らが充実した将来を思い描くのに助けとなります。人は有能な人になるよう十分に努力を傾注するまで何かを達成することはほとんどないということを教えてください。開花していない才能をたくさん持っている人々も、それを伸ばして成功を勝ち得るためには時間をかけなければなりません。



5. 彼らの決意を信頼する。 これは、彼らが常に完全な選りをするに信じることではありません。人は立ち直れること、神は寛大な御方であられること、また失敗を克服することや試練に耐えることがあって人生はさらに有意義なものになることを信頼するということを意味しています。幼い子供たちは心的外傷によって傷つくことがあります、ヤングアダルトは、様々な障害を避けることよりもむしろそれを克服することによって成長します。情緒的また現実的な支援を与え、ストレスを解消する時間を取るよう勧め、彼らとともに祈り、彼らのために祈り、また、ちょっとしたユーモアを添えるようにしてください。



6. 努力を褒める。熱心な働きと立ち直りについてヤングアダルトを褒めることは、彼らが仕事をより長く継続し、さらなる問題に立ち向かい、また仕事にもっと楽しみを見出すのに助けとなります。トーマス・S・モンソン大管長は、「夢見るだけでは成功しない」と述べています。¹

7. 靈感を求める。祈りと信仰は、わたしたちが自分の心を開き、神の助けを得て変わるのに役立ちます。わたしが知っているある女性は、自分の成人している子供たちがその子供たちに見せているテレビ番組のことを心配していました。その番組は年齢的には大丈夫と考えられていましたが、侮辱と口論の良くない手本になっていると、彼女は感じていたのです。彼女は干渉することを望みませんでした。自分が何をなすべきか、何を語るべきかについて繰り返し祈り、断食をしました。ある朝、義理の娘から電話がかかってきて、子供たちの間に見られる侮辱と口論への対処法に関して助言を求められました。わたしの友人は、テレビ番組について、また義理の娘がこれまで少しも気づいていなかった影響について自分の考えを伝えました。その若い両親は子供たちと一緒にその問題に取り組みました。そして、変わるように努力するという同意を引き出し、家庭の雰囲気改善されたのです。



8. お金のことについて話す。あなた自身の状況とそれぞれの子供の成熟度をよく考慮して、子供たちにどのような経済的援助を与えることが助けになるか、よく祈って判断してください。恐らく彼らが必要としているのは、予算を組む助けだけでしょう。経済的な援助を与える場合、あなたはそのお金を返してもらいたいかどうか、特定の用途で使ってもらいたいかなど、最初からはっきりさせておいてください。



その後、資金を管理する責任と、また今日お金を使いすぎたならば明日は何も行わないことなど、間違いから学ぶ責任を肯定的な態度で彼らに与えてください。

9. 謙遜になる。あなたが子育ての間違いに対して自分を責める傾向があると感じる場合、恥ずかしく思うのではなく、もっと謙遜になるように努めてください。潔く謝り、改善するために何を行うつもりかを告げ、その後、自信をもって前進してください。あなたの子供たちに、間違いが終わりではなく、謝罪は弱さの表れではなく、他の人々と自分自身を赦すことは平安をもたらすということを、あなた自身を見ることで理解してもらってください。

10. 真実の成功を測る。自分の子供たちが行う選択のことで（それが良い選択であろうと悪い選択であろうと）他の人々からどのように思われるかにあまり気を取られすぎると、わたしたちは客観性を失い、またしばしば御霊を失います。親としてのわたしたちの成功は、子供たちがわたしたちの価値観に従ってどのように立派な生活をしているかではなく、わたしたちがそれに従ってどれほど一貫して、利己心を持たずに生活しているかによって測られるのです。

よく祈って自分のヤングアダルトの子供たち一人一人の必要と個性について考えるとき、わたしたちが批判せずに導き、中傷せずに支援し、見捨てることなく一歩離れて見ることができるよう、御霊は助けてくださいます。わたしたちがそうするとき、ヤングアダルトの子供たちは、わたしたちと主がともに自分の傍らにいと信頼するようになることでしょう。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. トーマス・S・モンソン「大いなる遺産」(ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド, 2009年1月11日), lds.org/broadcasts

ニーファイはわたしの問いに答えてくれました

わたしは教会員の家庭に生まれましたが、わたしの子供時代、家族はめったに教会に行きませんでした。それにもかかわらず、わたしはいつも、自分で方法を見つけて教会に行っていました。1970年代の初頭、わたしはアメリカ合衆国カンザス州のピッツバーグでセミナーの教師として奉仕していました。モルモン書を勉強したときに、自分と一緒に、モルモン書を全部読むことをクラス全員にチャレンジしました。ある日わたしはモルモン書を読んでいるときに、そこに書かれていることは本当だという強い証^{あかし}を得ました。

2、3年後、わたしの住まいに両親が訪ねて来ました。何気ない話をしていくときに、賛成しかねる話題を父が持ち出したので、わたしは父と話したくなくなりました。父が話題を変えずに

話し続けたため、わたしは堪忍袋^{かんにんぶくろ}の緒が切れそうになりました。そこで、一度席を立てて寝室に行き、ひざまずいて天の御父に祈りました。父にうまく対処できるよう、助けを求めたのです。すると、ニーファイの弓が折れた話を読もうという考えが心に浮かびました。祈りの答えはこのような形で与えられたのです。

わたしはニーファイ第一書第16章を開いてその話を読み、ニーファイのことを考えました。ニーファイは非常に謙遜^{けんそん}でした。だからこそ、主に向かってつぶやいていた父親のもとに行き、食糧を得るのどこへ行ったらよいか尋ねたのです(23節参照)。こう考えているうちに、父から助言^{すけごと}だけでなく神権の祝福も受けるよう御霊^{みたま}が促すのを感じました。

わたしが居間に戻って祝福してもらえないかと頼むと、父は感極まって泣き出しました。そして、「考えさせてくれないか」と言ったのです。

それから2、3日、父は断食して祈りました。そして、母と一緒に帰る前に、すばらしい祝福を与えてくれました。

このことがあってから、父は生活ががらりと変えました。両親はカンザス州から家に帰る途中、アメリカ合衆国ミズーリ州のadam・オンダイ・アーマンを訪れ、そこで父は、強い御霊を感じる経験をしました。

程なくして両親は教会に集うようになり、献身的な末日聖徒になりました。その後数年の間に2度夫婦伝道に出ました。1度目はドイツ、2度目はソルトレーク・シティーのテンプルスクウェアで奉仕したのです。父は1987年に亡くなったとき、ステーキ祝福師を務めていました。

父が善良な人であることを主は御存じでした。わたしが答えを得たのはモルモン書を通してでしたし、わたしが御霊に促されて行動したおかげで、父は家族の指導者になるべきだという自覚を持つようになりました。この経験で、わたしたちの全てが変わったのです。

わたしはモルモン書が確かにイエス・キリストについてのもう一つの証であり、現代のわたしたちのために書かれた書物であることが分かりました。落胆したときでも、どんな状況に置かれたときでも、わたしはモルモン書に頼ることができます。そこに答えがあるのです。

確かに、「キリストの言葉は〔わたしたち〕がなすべきことをすべて告げる」のです(2ニーファイ32:3)。■

ジュディー・M・スミス
(アメリカ合衆国、カンザス州)

—— ニーファイの弓が折れた話の箇所を
—— 開いて読みました。すると、
父から助言と神権の祝福を
受けるよう御霊が促すの
を感じました。



母さんからの2通の手紙

1996年当時、妻とわたしには4歳と7歳の二人の息子がおり、わたしたちは典型的な忙しい若夫婦でした。ある晩遅く、妻は時間を割いて、フィンランドで伝道していたおいのグレンに手紙を書きました。

何か理由があって、妻は長い手紙を書く必要があると感じたのでしょう。その手紙には、家族一人一人の近況や霊的な状態、わたしと妻が教会の召しで得た経験、自分の改宗談、伝道への思い、福音に対する証^{あかし}などが詳しくぎっしりと書いてありました。

すばらしい手紙でしたが、おいがそれほど多くの情報を本当に必要としているかどうかは疑問に思いました。その後、妻はもう一度、おいに手紙を書きました。

6年後、わたしがビショップを務め、息子が10歳と13歳になっていたときのことです。突然、全てが変わりました。2002年1月2日、妻が心臓発作で亡くなったのです。42歳の若さでした。

わたしは家で、「家族——世界への宣言」に書かれている原則に引き続き従おうと努めました。¹ 家族を管理し、生活に必要なものを提供することはできましたが、息子たちに必要な養いを与えることが十分にできたとは言えませんでした。それでも、わたしたちはできる限りのことをして何とか暮らしました。

2012年6月のことです。コロラド州デンバー南伝道部で専任宣教師として奉仕していた下の息子サムから、こんな電子メールが届きました。「今週、すごいことがありました。母さんからの手紙が2通届いたのです。」

息子の説明によると、いとこのグレンから小包が届き、その中に、グレンがフィンランドにいたときに妻がグレン

宛てに書いた手紙が入っていたとのことでした。

サムはこう書いてきました。「グレンの話によると、伝道中に母さんから来たこの2通の手紙は、まさしく伝道中のほくに宛てて書かれているのだそうです。それで、ほくに送ってくれたのです。信じられないほどすばらしい手紙ですよ。」

母親の改宗談や証、伝道への思いを知って、「がぜんやる気が出た」とサムは書いていました。手紙はコピーして、原本は家に送るつもりだと言っていました。

「ほくは、父さんが長老定員会会長やワード伝道主任を務めていたなんて、考えてもみませんでした」とサムは書いています。自分が4歳のときには「お祈りが終わるといつもベッドの上で跳びはねて『宣教師になりたい』と叫んでいた」ことも知りました。

それに、母親についてこんなことも

分かったと付け加えてありました。「母さんはほくがレスリングをするようになることをきっと知っていたのでしよう。だって、ほくはこわもてのプロレスラーですら顔をほころばせるほどかわいかったって書いてありましたから。」

わたしは手紙を受け取ったサムの喜びを感じて、感動で目が潤みました。2、3週間すると、サムは手紙を家に送ってくれました。この手紙は1996年に書かれたときも力強く、妻の人柄が表れていて、感動的なものでしたが、その後起こったことを経て、さらに力が増し、妻の人柄がさらによく分かり、さらに感動を与えるものになっていました。

妻の手紙はかつておいを力づけたが、「あなたのパンを水の上に投げ」なさいという言葉のように(伝道11:1)、年月を経て戻って来て、伝道に出ている息子と、妻を亡くした夫に祝福を与えてくれたのです。■

ケン・ピネガー(アメリカ合衆国、カリフォルニア州) 注

1.「家族——世界への宣言」「リアホナ」2010年11月号、129参照

この手紙は1996年に書かれたときも力強く、妻の人柄が表れていて、感動的なものでしたが、その後起こったことを経て、さらに力が増し、妻の人柄がさらによく分かり、さらに感動を与えるものになっていました。



あなたのお母さんの顔が見えたわ

2002年夏のある日曜日のことです。目覚めると、亡くなったばかりの母のことが頭に浮かびました。その日、わたしはアメリカ合衆国カリフォルニア州パシフィック・パラセイズにある、以前所属していたワードを訪問しました。母が50年近く礼拝に通ったワードです。

ひざまずいて祈り、母が亡くなってどんなに寂しいかを主に伝え、その日霊的な経験をさせてくださいとお願いしました。

その日の午後は、カリフォルニア州サンタモニカにあるステーキの建物で、イリノイ州ノーブー神殿の再奉獻の放送を視聴しに行くことにしていました。ところが、

残念ながら到着したのが遅くて放送の間に合わず、中に入れなかったため、車に戻って高速道路に向かいました。

運転していると、「ランディー、メアリーの様子を見に行きなさい」という声が聞こえました。メアリーは家族で親しくしている友達で、別の教会の熱心な会員です。メアリーとその娘さんは、25年以上もわたしのおばルビーの隣に住んでいました。メアリー母娘には近くに住む親族がいなかったため、わたしたちとは親族同様の付き合いをしていました。1984年におばが亡くなってからは、母がよくメアリーの家に立ち寄っていましたが、そんなとき母は、必ずちょっ

としたプレゼントを持参するか、お菓子やパンを焼いて持って行ったものです。

わたしは最初、この御霊の促しを無視しました。連絡も入れずに立ち寄ることはできません。携帯電話を持っていなかったのも、事前に電話することもできませんでした。すると突然、また声が聞こえました。さらに大きい声でした。「ランディー、メアリーの様子を見に行きなさい。」高速道路の出口を危うく通り過ぎるところでしたが、このときは声に従いました。

メアリーの家に着くと、メアリーは出迎えてくれましたが、元気がありませんでした。きっと泣いていたのでしょう。どうしたのかと尋ねると、首をけがしてとても具合が悪く、ずっと痛みがあったと言います。それに、家の中には食べるものがほとんどありませんでした。具合が悪くて薬局にもスーパーにも行くことができなかったそうです。

なぜわたしたちの家族の誰かに電話しなかったのかと尋ねると、「天父なる神に祈って、助けてくれる人を送ってくださるようお願いした」と言います。

わたしは、天の御父は祈りを聞いてわたしを遣わされたのだと言い、彼女と抱き合いました。すると、メアリーは決して忘れることのできないことを言ったのです。「あなたが玄関に着いたとき、わたしにはあなたのお母さんの顔が見えたわ。あなたの顔ではなくて。」

わたしは突然、優しい母の霊が近くにいるのを感じて、母ならしたであろう奉仕をするようにという御霊の促しを感じました。母の生涯は、一言で言えば、人々への奉仕の一生でした。

御霊の声に心を留めることの大切さと、人に奉仕するという、母が示してくれた模範を、決して忘れないようにしたいと思います。■

ランディー・レイノルズ・アレン
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)



メアリー家に着くと、メアリーは出迎えてくれましたが、元気がありませんでした。きっと泣いていたのでしょう。

君はわたしを離婚の危機から救ってくれた

わたしは1979年から1986年にかけて、オマーンで建築の仕事をしました。国防省の仕事でした。命じられたプロジェクトはオマーンで最も人の少ない地域で行われ、ほとんどの時間、プロジェクトを見守る監督者はわたし一人でした。しかも、国防省の仕事をする人たちの中で、教会員もわたし一人だったのです。

ある日会社の本社で、ある電気技師と会いました。その技師は前に会ったときと同様、教会のことを悪く言いました。わたしは我慢しました。わたしが本社にいるのは通常、別のプロジェクトで他に行くまでのほんの短い期間だったからです。

ところが後日、この技師は、オマーンとイエメンの国境沿いで建設が進んでいたプロジェクトの電気工事の査察をすることになりました。技師はそこで1時間ほどわたしと一緒に査察してから、飛行機で本社に帰ることになっていました。

技師は、到着すると工事を査察しましたが、全項目に合格点をくれました。わたしは彼と一緒にいる間は仕事中心の会話を心がけ、査察終了後は、見送るために飛行機の発着場まで車で送りました。

モンスーンの季節でしたし、滑走路は、インド洋からはるか6,000フィート(約1,830メートル)の高原にあったため、雲がかかっていました。この仕事仲間の乗る便は、遅れることになりました。

この人と車の中で待たなければならないことが分かったと、わたしの心臓の鼓動が速くなりました。ところが心の中で祈ると、家族について、特に彼の奥さんについて尋ねようという考えが心に浮かんだのです。

彼に奥さんのことを尋ねると、この技師は、妻から離婚してほしいと言われたばかりだと言って泣き崩れました。愛と言う言葉がすぐさま心に浮かんだので、お互いに対して持つべき愛と、全ての人に対する主イエス・キリストの愛について、それから2時間ほど話しました。気がつくと、わたしたちはすっかり打ち解けていました。会話が終わるころには雲も晴れ、技師は飛行機に乗りました。間もなく、この技師が職を辞して家に帰ったという便りが届きました。

2、3年後、アロン神権の若い男性たちとイングランドの南岸プリマスに出かけたときに、一人の男性がわたしの方に近づいて来るのに気づきました。彼はわたしのそばに来ると、「君だと思ったよ、ネイル」と言ったのです。

オマーンで出会った、あの電気技師でした。そして、次にその口から出た言

葉が、今もわたしの心に残っています。「あの日山の上で、愛についてわたしに話してくれてありがとう。君はわたしを離婚の危機から救ってくれた。永遠に感謝するよ。」

二言三言、言葉を交わすと彼は去って行きました。それ以来彼とは会っていません。

オマーンで靈感を受けたことを、わたしはずっと感謝するでしょう。おかげで、あの技師も祝福を受けましたし、わたしも、家を離れて独りでいながらも教会の信条を守ることでできる強さを身につけました。■

ネイル・S・ロイ(イングランド、ヨークシャー州)

教会のことを悪く言った人と
車の中で一緒に

待たなければならないことが分かったと、
わたしの心臓の鼓動が速くなりました。





七十人
ジェリット・W・
ゴング長老

キリストにあって 完全になる

わたしたちは子供たちと一緒に、「主イエスの愛、いつも心に」と歌います。¹

惜しみなく与えられる救い主の贖い^{あがな}の愛は、「金を出さず、代価を払わないで」与えられる「乳と蜜」に似ています（2ニーファイ 26：25）。無限にして永遠の贖罪^{しよくざい}（アルマ 34：10 参照）は、「キリストのもとに来て、キリストによって完全になりなさい」と、わたしたちを招いています（モロナイ 10：32）。

惜しみなく与えられる救い主の贖い^{あがな}の愛を理解すれば、わたしたちは、完全とは何かということについて自らに課した、正しくない、非現実的な期待を抱かなくなります。この愛について理解していれば、自分は不完全であるという恐れ、すなわち、間違いを犯すという恐れや、力不足であるという恐れ、他の人以上に失敗するという恐れ、主の愛を受けるに値するほどのことを行っていないという恐れを抱くことができなくなります。

惜しみなく与えられる救い主の贖い^{あがな}の愛は、わたしたちがもっと寛大になり、他の人々や自分自身を裁くことがもっと少なくなるのに役立ちます。この愛は人々との関係を修復し、また

**惜しみなく与えられる
救い主の贖い^{あがな}の愛を理解すれば、
わたしたちは、
完全とは何かということについて
自らに課した、
正しくない、非現実的な期待を
抱かなくなります。**

愛し、理解し、救い主が望まれるように仕える機会をわたしたちに与えてくれます。

救い主の贖い^{あがな}の愛は、完全についてのわたしたちの概念を変えます。わたしたちは主に頼り、主の戒めを熱心に守り、信仰を持ち続けることができます（モーサヤ 4：6 参照）。さらにまた、より一層謙遜^{けんそん}な思いを抱き、感謝の念^{あわ}を抱き、主の功德と憐れみと恵みに頼る気持ちを感じます（2ニーファイ 2：8 参照）。

もっと広い意味で、キリストのもとに来て、キリストによって完全になるとは、わたしたちの霊と体の永遠の旅路、要するに、わたしたち自身の永遠の旅路の範囲内で完全になるという

ことです（教義と聖約 88：15 参照）。完全になることは、現世の生活、死、復活による旅路を経験する結果として得られるものです。そして、復活すると、全てのものが「本来の完全な造り」に回復されます（アルマ 40：23）。また完全になることには、わたしたちの心と気質に「大きな変化」をもたらす霊的な誕生の過程が含まれます（モーサヤ 5：2）。それは、キリストのような奉仕を行い、救い主の戒めと自分の交わした聖約に従うことにより、生涯にわたって精錬され続けることを表しています。またそれは、生者と死者の間の完全な関係を認めることでもあります（教義と聖約 128：18 参照）。

しかし、完全という言葉は、決して間違いを犯さないという意味であると誤解されることが時折あります。恐らく皆さんや皆さんが知っている人は、このような点で完全であろうと熱心に努めていることでしょう。しかし、このような完全にはいつまでも手が届かないように思われます。したがって、最善の努力を払っても、心配や落胆、疲労が残ることになります。自分の状況や周囲の人々をコントロールしよ



うとしてもうまくいきません。自分の弱さと間違いについて思い悩みます。実際、一生懸命に努力すればするほど、求めている完全から遠いと感じるかもしれません。

以下の事柄において、わたしはイエス・キリストの贖罪の教義と、救い主が惜しみなく与えてくださる愛と憐れみに、深く感謝するように努めています。わたしは皆さんに勧めます。自分自身と他の人々の助けになる贖罪の教義について理解していることを実践してください。他の人々とは、宣教師、学生、ヤングシングルアダルト、父親、母親、ひとり親の家長、また、完全だと感じることや完全になることにプレッシャーを感じることもある人々を指します。

イエス・キリストの贖罪

救い主の贖罪は世の初めから備えられており（モーサヤ4：6-7参照）、その贖罪のおかげで、わたしたちは学び、悔い改めることができ、自分自身の経験と選択によって成長することができます。

この死すべき試しの生涯においては、徐々に「教えに教え」（教義と聖約98：12）を加えられる霊的な成長と、劇的に心の中に「大きな変化」（アルマ5：12、13；モーサヤ5：2）をもたらす霊的な経験があり、その両方が、キリストのもとに来て、キリストによって完全になるうえで助けとなります。よく知られている「最後まで堪え忍ぶ」という言葉は、永遠の成長にはしばしば時間と過程の両方が含まれるということをおぼろげにわたしたちに思い起こさせてくれます。

モルモン書の最後の章で、偉大な預言者モロナイは、キリストのもとに来て、キリストによって完全になる方法をわたしたちに教えています。わた



したちは「神の御心みこころに添わないものをすべて拒み」ます。「勢力と思いと力を尽くして神を愛」します。そうすれば、神の恵みはわたしたちに十分であり、わたしたちは「神の恵みにより、キリストによって完全になることができるのです。神の力を「否定しなければ」、わたしたちは「神の恵みによりキリストによって聖きよめ」られます。それはわたしたちの「罪の赦ゆるしのために御父が聖約されたことによるものであり」、それによってわたしたちは「染みのない清い者となる」ことができます（モロナイ10：32、33）。

結局のところ、「正義に打ち勝ち、また人々が悔い改めを生じる信仰を持つようにするその道を設ける」憐れみをもたらすのは、救い主の「大いなる最後の犠牲」です（アルマ34：14、15）。実際、わたしたちの「悔い改めを生じる信仰」は、わたしたちがキリストのもとに来て、キリストによって完全になり、「偉大な永遠の贖いの計画」のもたらす祝福を享受するために不可欠です（アルマ34：16）。

救い主の贖罪を十分に受け入れると、

**完全な生涯を送られたのは
救い主だけです。
また救い主でさえ、
死すべき世の経験によって学び、
成長されました。**

わたしたちの信仰は増します。また、完全になる必要がある、あるいは物事を完全に行う必要があるという強い気持ちと断ち切る勇気が与えられます。黒か白かという発想は、「全ては絶対的に完全か絶望的に不完全かのいずれかである」という考え方です。しかし、わたしたちは、まだ進歩の途上にあるとはいえ、神の最も大なる手の業であるということ（詩篇8:3-6; ヘブル2:7参照）、神の息子娘として感謝の念をもって受け入れることができます。

わたしたちは惜しみなく与えられる救い主の贖いの愛を理解するとき、救い主は厳しい、あら探しをされる裁き主ではないかという心配をしなくなります。むしろ、次のような気持ちを抱きます。「神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。」（ヨハネ3:17）また、わたしたちは、成長するために時間と過程が必要であることを理解します（モーセ7:21参照）。

わたしたちの完全な模範

完全な生涯を送られたのは救い主だけです。また救い主でさえ、死すべき世の経験によって学び、成長されました。実際、救い主は、「最初から完全は受けず、恵みに恵みを受け続け、ついに完全を受けられた」のです（教義と聖約93:13）。

救い主は、「御自分の民を……どのように救うかを肉において知ることができるように、[わたしたちの]弱さを御自分に受けられ」、死すべき世の経験を通して学ばれました（アルマ7:12）。救い主は誘惑や罪、日々の圧力に屈することはありませんでしたが、死すべき世の全ての試練と問題の下に身

を落とされました（教義と聖約122:8参照）。

山上の垂訓の中で、救い主はわたしたちに「あなたがたも完全な者とならなさい」と命じておられます（マタイ5:48）。完全を指すギリシャ語には、「完成する、成し遂げる、十分に発達する」という意味があります。救い主はわたしたちに、完成し、成し遂げ、十分に進歩すること、すなわち、救い主と天の御父が完全な模範を示しておられる徳と特質において完全であることを求めておられるのです。²

完全だと感じる、あるいは完全になることが必要であると思っている人々にとって、贖罪の教義を応用することは、どのように助けとなるかを見てください。

完全主義

完全であることの意味を誤解していると、完全主義になります。完全主義とは、善い人でありたいという称賛に値する望みを持ち、それを今完全でありたいという非現実的な期待に変える、態度や振る舞いです。完全主義は時折、完全である人々だけが愛されるにふさわしい、あるいは完全でない限り幸せに値しないという気持ちから生じるものです。

完全主義は、不眠症、心配、引き延ばし、落胆、自己正当化、絶望の原因となることがあります。これらの気持ちは、平安や喜び、またわたしたちが持つように救い主が望んでおられる確信を締め出すことがあります。

今完全であることを望んでいる宣教師たちは、伝道部の言語を学ぶことや、人々がバプテスマを受ける姿を見ることが、あるいは伝道部で指導者の割り当てを受けることがすぐに達成できない場合、いらいらしたり、落胆

したりすることがあります。いつも物事を達成できてきた有能な若い人々にとって、伝道は人生で初めての大きなチャレンジかもしれません。しかし宣教師は、完全でなくても、あらゆる面で従順であることはできます。「聖霊の現れを受ける忠実な教会員となる」ように個人と家族を助けようとする決意によって、主に自分の成功を測ることができるのです。³

新しい学期が始まる学生たち、特に大学のために家を離れる学生たちは、大きな期待と不安の両方を経験します。奨学生や運動選手、芸術家などは、「小さな池の中の大魚」の状態から、未知の潮の流れと流れの速い予測不可能な海流のある大海の中の小魚に変わったかのごとく感じるようになります。完全主義的傾向のある学生は、どれほど一生懸命に努力しても全ての点で一番でなければ失敗であると思いやすいものです。

人生で求められることについて考えるうちに学生たちは、自分ができる全てを行うのが時には実にすばらしいことであって、必ずしも一番になれないことがあるということ学べます。

わたしたちは、自分の家庭で完全であることを期待されることもあります。父親や母親は、完全な伴侶、親、主婦、稼ぎ手、あるいは完全な末日聖徒の家族の一員であるように強制されていると今感じているかもしれません。

完全主義的傾向と戦う人々には、何が助けになるのでしょうか。形に捕られない、相手にとって助けになる質問は、その人を受け入れ、愛しているという気持ちを伝えるのに役立ちます。それは肯定的なことに集中するように他の人々に勧めます。それによってわたしたちは自分がうまくいくと感じている事柄を明確にすることができます。

家族と友人は、優劣をつけるための比較を避け、代わりに誠実な励ましを与えることができます。

完全主義のもう一つの深刻な点は、他の人々をわたしたちの非現実的な、手厳しい、あるいは容赦ない標準に縛りつけることです。実際、そのような振る舞いをすれば、自分の生活に、また他の人々の生活に、救い主の贖罪に伴う祝福が与えられないか、あるいは制限される可能性があります。例えば、ヤングシングルアダルトは、配偶者になる可能性のある人に望む特質のリストを作成できますが、完全な伴侶を求めるといふ非現実的な期待があるために結婚することができません。

したがって、ある姉妹は、自分の完全主義の基準に達しない兄弟とは、たとえその人がすばらしい、立派な人であっても、デートしたいと思わないかもしれません。ダンスが上手でない人、裕福になるための計画を立てていない人、宣教師として奉仕しなかった人、あるいは悔い改めとカウンセリングによって解決したもののボルノグラフィーに伴う問題が過去にあった人は、彼女が考える基準に達しない人です。

同様に、兄弟は、自分の理想とする非現実的な経歴を持たない姉妹とは、たとえその人がすばらしい、立派な人であっても、デートしたいと思わないかもしれません。スポーツファンでなく、扶助協会会長でなく、美人コンテストの優勝者でなく、教養のあるやりくりの上手な人でない人、あるいは今はすでに解決しているものの知恵の言葉に対する弱さが過去にあった人は、彼にとって釣り合わない人なのです。

もちろん、わたしたちは自分自身に、また、配偶者になる可能性のある人に望む特質を考慮するべきです。

わたしたちは最高の希望と標準を維持するべきです。しかし、わたしたちは謙遜であれば、思わぬところに良さがあることに驚くでしょう。そして、わたしたちと同じように完全でない人ともっと親しくなる機会を得ることができます。

信仰があれば、悔い改めと贖罪の力によって、弱さは強さに変えられ、悔い改めた罪は実際に赦されるということが分かります。

幸せな結婚生活とは、完全な二人が誓いの言葉を交わした結果としてあるものではありません。むしろ、献身と愛は、不完全な二人がこれから先、互いに築き、祝福し、助け、励まし、赦し合うときに深まるのです。現代のある預言者の妻は、預言者と結婚しているとはどんなものかと尋ねられたことがあります。そのとき、彼女は賢明にも、自分は預言者と結婚したのではなく、どんな召しを受けても教会に十分に献身する人と結婚しただけであると答えました。⁴ 言い換えれば、夫と妻は、時の経過とともに、個人として、また夫婦として一緒に成長するのです。

完全な伴侶、完全な教育、完全な仕事、あるいは完全な家庭を得るためには、長い時間をかける必要があります。孤独を感じることでしょう。人生の重要な決断を下す際に御霊に従うことは賢明なことです。完全主義の要求から引き起こされる疑いにわたしたちの進歩を妨げさせてはなりません。

慢性的に重荷や心配を感じる可能性のある人々は、誠実に次のことを自分自身に問うてみてください。「わたしは**完全**と**成功**を、救い主の贖いの愛の教義によって定義づけているだろうか。それとも、世の標準によって定義づけているだろうか。わたしは**成功**や**失敗**を、わたしの義にかなった

望みを確認してくださる聖霊によって測っているだろうか。それとも、何らかの世間の標準によって測っているだろうか。」

肉体的あるいは情緒的に疲れを感じている人々は、定期的に睡眠と休息を取るようにし、また食事をし、くつろぐ時間を取ってください。多忙であることとふさわしいことは別のことであり、またふさわしくあるために完全である必要はないということを知っておってください。⁵

自分の弱さや欠点に目を向ける傾向のある人々は、うまくいっている事柄に、その大小はどうであれ、感謝するようにしてください。

失敗を恐れる人々や、引き延ばす人々、すなわち時折準備に時間をかけすぎることのある人々は、大きな成長をもたらす可能性がある、やりがいのある活動から手を引く必要がないという確信と自信を持ってください。

必要であり適切であれば、霊的な助言か、資格を有する医療者による治療を求めてください。それは、あなたがくつろぎ、自分の人生を肯定的に考えて組み立てる方法を身につけ、自滅的行動を減らし、もっと多くの感謝を経験し表明するうえで助けとなります。⁶

短気は信仰を障害します。信仰と忍耐は、宣教師が新しい言語や文化を理解し、学生が新しい科目を習得し、ヤングシングルアダルトが人々との関係を築き始めるのに助けとなります。全てが完全になるのを待つ必要はありません。また信仰と忍耐は、神殿の結び固めの承認や神権の祝福の回復を待つ人々にとっても助けになります。

わたしたちは自ら行動し、強いられることがないとき(2ニーファイ2:14参照)、様々な美徳を知ることができ、人生に伴う大きな成長を遂げることが



自分の弱さや欠点に
目を向ける傾向のある人々は、
うまくいっている事柄に、
その大小はどうであれ、
感謝するようにしてください。

できます。これらは「反対のもの」の中に見受けられますし、「混じり合っ
て一つと」なるのです(2 ニーファイ
2:11)。

例えば、わたしたちは自分の力以上
に速く走らずにいなながらも(モーサヤ
4:27 参照), 怠惰でないようにする
ことができます(教義と聖約 88:124
参照)。

わたしたちは「静まって、わたしこそ
神であることを知れ」という言葉を定
期的に心に留めながら(詩篇 46:10。
教義と聖約 101:16 も参照), 「熱心
に善いことに携わ[る]」ことができ
ます(教義と聖約 58:27)。

わたしたちは救い主のために自分の
命を失うことによって、自分の命を見い
だすことができます(マタイ 10:39;
16:25 参照)。

わたしたちは霊的に、また肉体的に
元気を取り戻す時間を適切に取るとき、
「善を行うことに疲れ果て[ることがあり
ません。]」(教義と聖約 64:33。ガラ
テヤ 6:9 も参照)

わたしたちは軽率にならず、快活に
なることができます。

わたしたちは不遜な笑いではなく、
心から笑うことができます。

救い主とその贖罪は、「キリストのもと
に来て、キリストによって完全に[なる]」
ようにわたしたちに勧めています。わ
たしたちがそうするとき、神の恵みは
「あなたがたに十分であり、あなたが
たは神の恵みにより、キリストによっ
て完全になることができる」と、主は約
束しておられます(モロナイ 10:32)。

完全だと感じることや今完全になる
ことを気にするあまり、重荷を感じる
人々は、惜しみなく与えられる救い主
の贖いの愛から、次のことを知るこ
とができます。

「すべて重荷を負うて苦勞している
者は、わたしのもとにきなさい。あなた
がたを休ませてあげよう。

わたしのくびきは負いやすく、わたし
の荷は軽いからである。」(マタイ 11:
28, 30)⁷ ■

注

1. 「救い主の愛」『子供の歌集』42
2. ラッセル・M・ネルソン「完成の道」『聖徒の道』1996年1月号, 95-98も参照
3. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』10
4. ラビナ・フィールディング「なお向学心に燃える女性——カミラ・キンボール」『聖徒の道』1976年3月号, 158参照
5. 例として、ディーター・F・ウークトドルフ「4つの称号」『リアホナ』2013年5月号, 58-61参照。ウークトドルフ管長はまた次のように警告しています。「自分の価値はなすべきことの多さで決まると考えている人さえます。」(「最も大切な事柄について」『リアホナ』2010年11月号, 20)
6. この見解は、アジア地域の香港で精神保健アドバイザーを務めているカルロス・F・ワトキンス長老とアレイン・カエ・ワトキンス姉妹から寄せられたものです。この記事のその他の見解は、スーザン・ゴング姉妹、ラリー・Y・ウィルソン長老、リング・ウィルソン姉妹、ランディー・D・ファンク長老、アンドレア・ファンク姉妹、ジャネット・S・シャーマン姉妹、ならびにインドネシア・ジャカルタ伝道部の宣教師たちから寄せられたものです。
7. セシル・O・サミュエルソン, “What Does It Mean to Be Perfect?” *New Era*, 2006年1月号, 10-13; ジャネット・S・シャーマン, “Seeking Perfection without Being a Perfectionist,” も参照。後者は, *Virtue and the Abundant Life: Talks from the BYU Religious Education and Wheatley Institution Symposium*, ロイド・D・ニューウエルその他編(2012年), 280-302で引用

聖約を通して

強いクリスチャンとなる

神と聖約を交わして守ることで、どうして力が得られるのでしょうか。



十二使徒定員会
D・トッド・
クリストファーソン長老

2007年8月15日、ペルーで大地震が発生し、沿岸のピスコ市とチンチャ市はほぼ完全に壊滅しました。チンチャのバルコンシト支部の会長ベンセスラオ・コンデ兄弟は、教会の多くの指導者や会員が行ったように、家が壊れた人々を直ちに助け始めました。

地震の4日後、七十人のマークス・B・ナッシュ長老はチンチャを訪れ、教会による救済活動を調整していたときに、コンデ会長に会いました。被害状況と被災者の救援活動について話し合っていると、コンデ会長の妻パメラ姉妹が幼い子供を抱いてやって来ました。ナッシュ長老が子供たちはどうしているか尋ねると、彼女はほほえんで、神の恵みのおかげで皆無事だと答えました。ナッシュ長老は、家はどうかと尋ねました。

彼女はただ「なくなりました」と答えました。

ナッシュ長老は「家財道具はどうですか」と問いました。

コンデ姉妹は「全部、がれきの下です」と答えました。

ナッシュ長老は「それでも、姉妹はほほえんでいますね」と言いました。

するとコンデ姉妹はこう答えました。「ええ、お祈りをしたので、平安を感じています。必要なものは全部ありますし、夫もわたしも子供たちもここにいますし、神殿で結び固められています。このすばらしい教会があり、主がおられます。主の助けがあれば、またやり直せます。」

聖約の力

そのような道徳的、霊的な力の源は何でしょうか。その力を得るにはどうしたらよいでしょうか。その源は神です。神との聖約を通してその力を得ることができます。聖約とは神とわたしたちが交わす合意であり、合意の条件は神がお定めになります。¹ この神聖な合意において、わたしたちは神に仕え、神の戒めを守ると約束し、それに対して、神はわたしたちを支え、聖め、高く上げると約束されます。

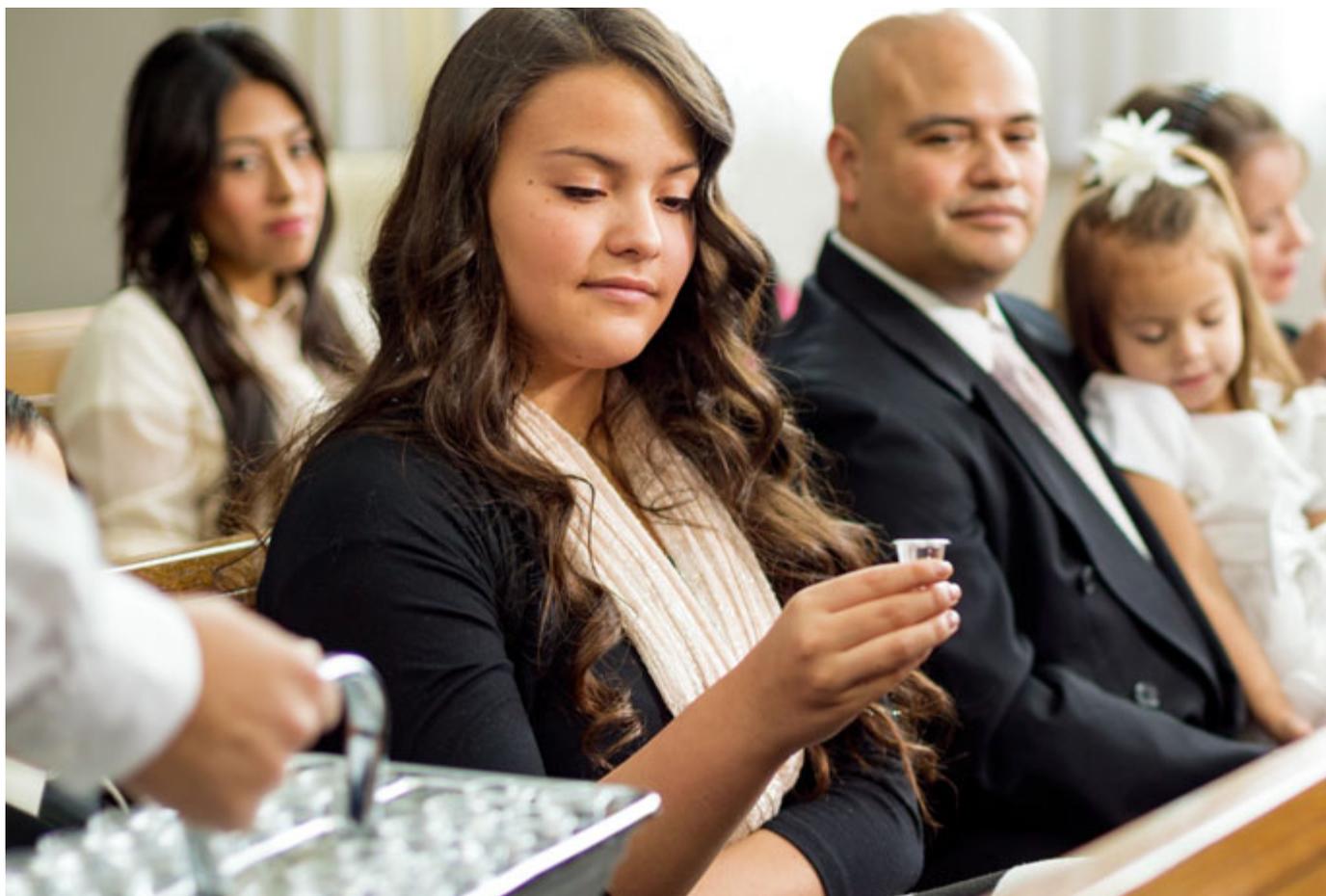
では、神と聖約を交わし守ることで、どうして苦難の中でほほえむ力や、試練を勝利に変える力、「熱心に善いことに携わり、……義にかなう多くのことを成し遂げ[る]」力が得られるのでしょうか（教義と聖約 58:27）。

たまもの 賜物と祝福により強められる

第1に、イエス・キリストの福音の原則と戒めに従順に生活することによって、神が聖約の中で約束された祝福が、絶えず流れ込むようになります。このような祝福は、生きていく中で、単に作用される者でなく、作用する者となるために必要な力を与えてくれます。例えば、「知恵の言葉」で肉体を守るために与えられた主の戒めに従うなら、まず初めに「知恵と、知識の大いなる宝、すなわち隠された宝さえ」祝福されます（教義と聖約 89：19）。さらに、より健康的な生活、破滅をもたらす依存症からの自由、病気になる可能性の低い生活へと導かれます。従順に従うなら、生活を管理する力が強められ、自由に動く力、働く力、創造する力が増し

ます。もちろん、老化や事故や病気によって体は弱まりますが、たとえそうでも、福音のこの律法に従うなら、そのような困難に対処する力が増します。

聖約の道を歩んでいると、常に賜物や助けが与えられます。「愛はいつまでも絶えることがない。」（1コリント 13：8；モロナイ 7：46）愛は愛を、思いやりは思いやりを、徳は徳を生み、献身は忠誠を、奉仕は喜びを生みます。わたしたちは聖約の民であり、互いに励まし合い、支え合い、仕え合う聖徒の共同体の一員です。ニーファイが説明したように、「もし人の子らが神の戒めを守るならば、神は彼らを養い、強くし」てくださいます（1ニーファイ 17：3）。



信仰を深めることにより強められる

ここで、聖約がどのように強さをもたらすのか、第2の理由に導かれます。聖約は、堪え忍ぶための信仰、主が求められることを全て行う信仰を生じます。喜んでキリストの御名を受け、戒めを守るには、信仰が必要です。聖約を尊ぶなら、そのような信仰が強まります。1つ目に、従順が約束どおりに実を結ぶのを見て、信仰が固くなり、2つ目に、御霊を通して神が喜んでおられると感じ、神の祝福と助けが途切れずに続くことを確信するようになり、3つ目に、神から一人一人自分の名前でも頂いた約束があり、神はうそをつかれないということを知っているので、最後にはうまくいくと確信でき、何が起きても、希望を持ち、落ち着いて対処できるのです(エノス1:6, エテル3:12 参照)。

この神権時代の初期の教会指導者は、聖約に固くついていれば、試練のときに必要な安心感が得られると約束しています。「自分の生き方は神の御心みこころにかなっているという知識があったからこそ、昔の聖徒たちはあらゆる苦難や迫害に耐え、財産を奪われたり所有物を破壊されたりしても喜んで忍耐し、さらに、最も恐ろしい死に方で死ぬことすら耐えたのです。『わたしたちの住んでいる地上の幕屋がこわれると、神からいただく建物、すなわち天にある、人の手によらない永遠の家が備えてあることを』彼らは(ただ信じていただけではなく)知っていたのです(2 コリント5:1)。」²

彼らはさらに、神から求められるいかなる犠牲をもささげるとき、自分が正しい道を歩んでおり、それは神を喜ばせる道であるという御霊あかしの証が得られると述べています。³ そのような知識があれば、あらゆる苦難はやがて神によって祝福に変えられると確信するようになり、信仰は無限になります(教義と聖約97:8-9)。

「神性の力」により強められる

ここまでは、第1に、神との聖約を守る人が神から授かる力強い祝福と、第2に、信仰という比類ない賜物について考えてきました。聖約を通して

受ける強さについて今日わたしが伝える最後の側面は、神の力を受けることです。わたしたちが神との聖約を守ることによって、天の御父はわたしたちの生活に神の影響、すなわち「神性の力」を注ぐことがおできになります(教義と聖約84:20)。御父にそうすることがおできになるのは、わたしたちが神権の儀式を受けることを通して、選択の自由を行使してそれを受ける選びをしたからです。儀式を受けると霊的な力と光が増し加えられる分、責任も増し加わります。儀式を受けることは、その増し加わった責任を受け入れる準備ができていることの証明でもあるのです。

すべての儀式において、特に神殿の儀式において、わたしたちは高い所から力を授けられます(教義と聖約109:22 参照)。この「神性の力」は聖霊の影響力によってわたしたちにもたらされます。聖霊の賜物は新しくかつ永遠の聖約に含まれており、それはバプテスマに欠かせない、御霊によるバプテスマです。キリストの血が適用され、わたしたちの罪が取り除かれ、聖められたという恵みを告げるものです(2 ニーフアイ31:17 参照)。この賜物によってアダムは「内なる人において生かされた者」となりました(モーセ6:65)。まさに聖霊の力によって、昔の使徒たちはあらゆる艱難かんなんを耐え、神権の鍵によって、当時知られていた世界へ福音を伝えたのです。

神聖な聖約に入ると、聖霊が慰め主、導き手、伴はんりよ侶となられ

ます。聖なる御霊の実は「不死不滅の栄光の平和なること、すべてのものの真理、すべてのものを生かし活気づけるもの、すべてのことを知っており、知恵と隣れみと真理と公正と公平によって一切の権威を持つもの」です(モーセ6:61)。聖なる御霊の賜物は、証、信仰、知識、知恵、啓示、奇跡、癒し、慈愛、その他たくさんあります(教義と聖約46:13-26 参照)。

教え、証するとき、聖霊は皆さんの言葉が真実であることを証言してくださいます。敵意を持つ人に話すとき、聖霊は、言うべきことを心の中に入れ、「人々の前で辱められることはない」という主の約束を果たしてくださいます(教義と聖約100:5)。





不可能に思える目の障害を乗り越える方法を示してください。皆さんの内にある聖霊により、人々はキリストの純粋な愛を感じ、前進する力を受けます。聖霊はまた、「約束の聖なる御霊」という役割において、聖約が正当であり有効であることを確認し、神の約束の証印を押してください（教義と聖約 88：4 - 5；109：14 - 15）。

天の御父はあなたとともにおられる

強いクリスチャンは、神聖な聖約によって作られます。ふさわしくなり、受けられる神権の儀式を全て受け、聖約によって交わした約束を忠実に守るよう一人一人に強く促します。苦難に遭ったときには、聖約を最優先し、厳密に守っ

てください。そうすれば、自分の必要に合わせて「疑わないで、信仰をもって願い求める」ことができ、神は応えてくださるでしょう。神は、答えを待ちつつ励む皆さんを支え、御自身の時と方法により、手を差し伸べ、「わたしはここにいます」と声をかけてくださるでしょう。■

2009年4月の総大会説教「聖約の力」からの抜粋。

注

1. 聖句ガイド「聖約」の項参照, scriptures.lds.org
2. Lectures on Faith (1985年), 67
3. Lectures on Faith, 69 - 71 参照



日曜日のレッスン

.....
今月のテーマー

儀式と聖約

何が見えますか？

福音の儀式における象徴を研究し深く考えるとき、
わたしたちの思いはイエス・キリストを中心としています。

教会機関誌

デビッド・A・エドワーズ

象徴は至る所にあるので、わたしたちは時としてそのことについてあまり深く考えません。しかし、もっとよく注意を払うなら、福音の象徴は、さらに大なる理解を得る鍵となります。

聖文で使われている **予型**、**影**、**兆し**、**象徴**、**しるし**、**たとえ**、**記念**、**証人**、または **証** などの言葉は、わたしたちの視点を別のものに向けることを意図して使われています（モーセ6：63参照）。例えば、イエスが最後の晩餐で聖餐について教えられたとき、イエスは弟子たちが食べるパンを裂いて

与え、こう言われました。「これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。」（ルカ22：19）ここでは、明らかにパンは主の体そのものではありません。主が言われたように、聖餐は、わたしたちが主の体とそれ以上のことを思い起こすように意図されているのです。そのことが象徴を非常に説得力のあるものにしていきます。象徴は、言葉なしで物事を伝え、深さと意味を加えて、関連する多くの考えを一度に引き出すきっかけとなります。

もちろん、儀式は単なる象徴的な行為ではありません。儀式は、神権の権能を通してわたしたちを祝福する実際的な力を持っていますが、儀式にも象徴が含まれていて、救い主について、そしてわたしたちが交わす聖約について教えています。神権の儀式に従ったり、それを受けたりする行為はまさに、その人の信仰と謙遜さを外に表すしるしなのです。これから、バプテスマ、確認、聖餐の儀式に結びついている多くの象徴を挙げ、同時に象徴に関連している概念について説明します。■



バプテスマ

水 — 洗い, 清め, 罪からの^{きよ}聖め

白い衣 — 純粋さ (「だれも衣を白く洗い清められないかぎり, 救いを得られないからである。…… [キリスト] の血によって……清められ〔る。〕」〔アルマ 5:21〕; 平等 (豊かな者も貧しい者も皆, バプテスマのときには同じ衣を身に着けます。なぜなら, 「すべての人が神にとって等しい存在」だからです〔2ニーファイ 26:33〕。)

右手を上げる — 天に向かって手を伸ばすこと, 天に対して約束すること; 誓いのしるし (創世 14:22; ダニエル 12:7 参照)

水に沈める — 死, 埋葬, キリストの復活 (ローマ 6:3-4 参照); キリストにおける霊的な生まれ変わり (「水……から^{うま}生れ〔る〕」〔ヨハネ 3:5〕)

確認

^{あんしゅ}**按手** — 神を代表する者が手を置くことにより, 神から人に祝福を与えること

^{たまもの}**聖霊の賜物を受ける** — 「火……によるバプテスマ」と呼ばれる (2ニーファイ 31:13 参照)。清められ, キリストにあって霊的に生まれ変わる。



せい さん 聖 餐

パンを食べる—— イエス・キリストの体の記念 (マタイ 26 : 26 - 29 参照) ; 命のパン (「わたしに来る者は決して飢えることがない。」) (ヨハネ 6 : 35), 「このパンを食べる者は、いつまでも生きるであろう。」 (ヨハネ 6 : 58)

ひざまずいて祈る—— 謙遜さ、神の御心に従うこと ; 永遠の聖約のしるし (教義と聖約 88 : 131 参照)

パンを裂く—— わたしたちの身代わりとしてキリストがお受けになった肉体的な苦しみ、主の肉体的な死、わたしたちが再び生きることを可能にする主の復活。

会衆にパンと水を配る—— キリストの犠牲の象徴を表し、血を流すことによる犠牲が終わりを告げた (アルマ 34 : 13 - 14 参照)。わたしたちは、「主……に……打ち砕かれた心と悔いる霊の犠牲をささげなければ」なりません (教義と聖約 59 : 8)。

水を飲む (当初はぶどう酒)—— キリストの血 (ゲツセマネで流された血、兵士から苦しみをお受けになったときに流された血、そして十字架上で流された血) は、「すべての罪からわたしたちをきよめ」 (1ヨハネ 1 : 7), 「(わたしたち)の罪の赦しのために御父が聖約されたことによるものであ(る。)」 (モロナイ 10 : 33) ; 「生命の源、肉なる者の活力」としての血 (聖句ガイド「血」; scriptures.lds.org), 犠牲を通して罪の贖いをする血 (レビ 17 : 11 参照) ; 生ける水 (ヨハネ 4 : 14 参照)



あがな 贖いに焦点を置く

「福音の儀式は全て何らかの意味で主イエス・キリストの贖いに焦点が置かれているのです。特に聖餐の儀式には深い象徴的な意味があり、他の儀式よりも頻繁に行われ、わたしたちの生活に溶け込んでいます。」

十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホルランド長老
「わたしを記念するため、
このように行いなさい」
『リアホナ』1996年1月号, 73

話し合いに参加する

日曜日に備えて、深く考える事柄

- ・ パプテスマ、確認、聖餐などの儀式における象徴は、救い主とあなたの聖約を思い出すのにどのように助けとなりますか。
- ・ 毎週聖餐式の間にどのような思いが心に浮かびますか。

実践してみること

- ・ 聖餐式の間に思い浮かぶことや感じることを日記に書きましょう。
- ・ 教会で、聖餐における象徴について、そしてそれがどのように救い主を思い起こす助けになるかについて話し合いましょう。

わたしたちのスペース

祖父のためのバプテスマ

青少年の指導者が神殿訪問を計画してくれたことに感謝しています。サモアのアピアへの旅行の準備をしているとき、わたしたちは、このまたとない機会を喜んでいました。わたしたちは喜びにあふれて、死者のためのバプテスマをするために神殿に行きました。霊界にいる人たちは、わたしたちが家族歴史を探求し、儀式を行うのを待っているからです。

バプテスマの間、同じグループの若い男性がわたしの祖父であるファータガ・アガバレのためにバプテスマを受けるのを見ていました。わたしの目に喜びの涙があふれ、祖父の霊がそこにいることが分かりました。神殿で祖父のための儀式ができたのでとても幸せでした。
サイニ・アガバレ (サモア)



友達からの大切な情報

10代のころ、わたしは教会に行くのが好きではありませんでした。そのため、聖書や神についてはあまりよく知りませんでしたし、知りたいとも思いませんでした。17歳のとき、ある友達が自分はモルモンだと教えてくれました。モルモンとは何かまったく知らなかったわたしは、友達にこう言いました。「その教会について何か少しでも知りたくなったら、自分で調べるよ。」

わたしが宗教にあまり関心を持っていないのを見て、彼女はわたしにモルモン書を渡し、その本を読んで祈ってほしいと言いました。無理強いはしませんでした。その夜遅く、その本を開いてみると、最初のページに書かれた彼女の証^{あかし}に気がつきました。その証を読んだわたしは、モルモン書についてもっと学ぶべきだと感じました。それでニーファイ第一書から読み始めました。途中で読むのを止めることができませんでした。もっと知る必要があると思ったのです。

家庭の夕べで、彼女の家族がイエス・キリストの福音に

ついて教えてくれました。全てが理にかなっているように思えました。それから間もなく、わたしは宣教師から福音を学び、バプテスマを受け、主の真実の教会の会員に確認されました。福音によって、わたしが何者であるか、どこから来たか、忠実であればどこに行くことができるかを知りました。

振り返ってみると、聖霊がどのようにわたしに、もっと学びたいという思いを抱かせてくださったかが分かります。そしてさらに学ぶことにより、教会と神に対するわたしの態度が変わりました。人生で初めて、主がわたしに行うように望んでおられることを行いたいと思いました。

モルモン書は、わたしの人生を変えました。そして、それを分かち合ってくれた友達に感謝しています。真の友達とは、このように大切な情報を分かち合ってくれる人です。

マイケル・P. (アメリカ合衆国, オハイオ州)



中央若い男性会会長
第二顧問
ランドール・L・
リッド

労働

必要なのは誰でしょうか

労働は楽しいことばかりではありませんが、皆さんは労働のおかげで自分がどれほど幸せな気分になっているかに驚くことでしょう。

少年の頃のわたしは誰よりも遊びや楽しいことが好きでした。そして16歳になると、デートをしたり、友達と一緒に過ごしたりするのが大好きになりました。働くことよりもずっと、そのようなことが好きでした。

でも、皆さんの多くがそうしているように、アルバイトもしました。父が建設業を営んでいて、家を建てるのが仕事だったので、頻繁にわたしたち兄弟4人に手伝いを頼んできました。暑くて大変な仕事でした。働きたくないと思ったこともありました。しかし、仕事には期限があり、プロジェクトを完成する必要がありましたから、わたしたちは毎日、その日の作業が終わるまで熱心に働きました。当時は気づかなかったものの、わたしは家族と一緒に働くことによって多くを学んでいたのです。

満足感は仕事を立派に成し遂げたときに得られる

家を建てるには多くの時間と努力と正確さが必要です。わたしがそれほど正確である必要はないと思った部分がありました。それは家のフーチング用の穴掘りでした。しかし、父の考えは違っていました。

家の基礎を据えるには、まずフーチング用の穴を掘り、コンクリートを注入しなければなりません。フーチングというのは、建物の基礎を支えるコンクリートの床板のことで、基礎の幅より広くコンクリートが打たれます。フーチング用のコンクリートが固まるのを待ち、その上に基礎を据えます。それからフーチングを埋め戻すのです。

フーチングが完全な直角である必要があるのかと思ったことが何度もありました。どうせ土をかぶせ、誰の目にも触れることはないのだし、建物の

強度を下げることもないだろうと思いました。しかし、それでも父は、フーチングが完全に直角で水平であり、正確かつ慎重に計測されていることを要求しました。それは父の建てたどの家でも同じでした。

思い返すと、父は仕事上のあらゆるものに、家の持ち主が決して気づかないようなものについても、同じように細心の注意を払っていました。細かいところまで気を配った丁寧な仕事のおかげで、父の仕事は信頼されましたし、父自身も自分が最高の品質の仕事をし、家の持ち主がそれを喜んでくれることに満足していました。

皆さんが必要な働きをどれほど立派に果たしたのか、自分と主の他、誰も知らない場合もあります。安心してください。主は**確かに**皆さんの努力を御存じです。最善を尽くすとき、皆さんは自分がさらに誠実で信頼に足る



者となり、役に立つ技能を身につけたことを知って自信を持つことでしょう。

皆さんは自らの経験を通して、「人は自分のまいたものを、刈り取ることになる」という主の刈り入れの律法の意義を学ぶのです（ガラテヤ6：7。教義と聖約130：20 - 21も参照）。

態度はあらゆることに影響を及ぼす

フーチング用の穴を掘るには、長い時間汗だけで働く必要がありました。正直に言えば、いつも良い態度で働いたわけではありませんでした。わたしが仕事について不平を言うのを見つけるたびに、母はこう言ったものです。「気をつけなさい。祝福をなくすわよ。どっちみち、働かなきゃいけないのに！」（教義と聖約58：28 - 29参照）母の言うとおりでした。不平を言ったからといって働かなくてもよくなったことは一度もありませんでした。ただ、働く

ことから得られる満足感と多くの祝福を失っただけでした。

母の言葉に従うことを選んだとき、喜びの心で働けば時間のたつのが速く、作業そのものもうまくいって、不平を言っていたときよりずっと楽しいことを知りました。態度はあらゆることに影響を及ぼすのです。

最も重要な働きは神の業である

わたしにとって伝道に出て奉仕したことは人生を左右する決定的な経験でした。天の御父の業ほど重要なものはないことに気づかされたのです。その業とは御父の子供であるわたしたちの生活を祝福することです。「見よ、人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。」（モーセ1：39）

天の御父の業に携わって御父の子供たちに仕えるとき、皆さんもアルマ

のように「神の御手に使われる者となって幾人かでも悔い改めに導けること」に大きな喜びを見だし、「これが〔皆さんの〕誇りであり、喜びである」と知ることでしょう（アルマ29：9）。

招き

それでは、働く必要があるのは誰でしょうか。わたしたち全員です！働くことこそ、この世における自立と達成と喜びの母なのです。皆さんが楽しみに業に携わるとき、皆さんがまいた種によって周りの人が皆、豊かな刈り入れを楽しむことができるでしょう。

週日の生活の中で、わたしが学んだ教訓について考え、次のような実験をするよう勧めます。次に何か仕事を任されたら、喜びをもって、最善を尽くしてそれを果たしてみるのです。その結果、自分がどれほど楽しく幸せな気分になっているかに驚くことでしょう。■

泥だらけの靴で パイプを 動かす

もうスプリンクラーのパイプは
一本も動かしたく
ありませんでした。

レイモンド・M・アルトン

「**□**リービショップ、ありがとうございます。喜んでお手伝いします。」 執事定員会アドバイザーのヒュレット兄弟は、ビショップの手からクリップボードを受け取るところを発表しました。「ここに教会の農場で働くボランティアの申し込み用紙がある。今週皆で手伝いに行ったら、主はきっとお喜びになると思うよ。」

「どんな手伝いですか」とぼくは慎重に尋ねました。教会の農場で働くというのは、考えただけでもあまり楽しそうではありませんでした。

「今週割り当てられたのはスプリンクラーのパイプを動かすだけだ。」



パイプを動かすだって！ 聞いただけで不安でいっぱいになりました。数か月前、母が夏休みにアルバイトをするように言って一歩も引かなかったときのことを思い出しました。この小さな町では、夏のアルバイトとはほとんどパイプを動かす仕事だけを意味していました。ですから夏中、いとこのスコットと一緒にパイプを動かしていたのです。

夏のアルバイトの初日、ぼくたちは緑色に広がる広大なアルファルファ畑をじっと見ながら立っていました。40フィート（約12メートル）のパイプが幾つもまっすぐにつながれ、まるで何キロも先まで伸びているように思えました。短い訓練を受けてから、スコットとぼくは最初のパイプを外しました。スコットが片方を持ち上げると、冷たい水がぼくのテニスシューズ一面に飛び散りました。ぼくたちはどろどろのぬかるみからそのパイプを持ち上げると、次のライザー管〔訳注——垂直に立つパイプ。上に載せた水平な灌漑用パイプに水を送る〕に接続し直しました。次のパイプを取りに戻る間、ぼくの靴はチャプチャプと音を立て、何層にもこびり付いた泥でますます重くなっていきました。そのうち、ぼくたちの服は泥と水と汗でびしょぬれになり、気力もそがれてしまいました。

再び教会の農場でのボランティアのことに思いが戻りました。「ええと、ぼ、ぼくは無理だと思います」と口ごもりながら言いました。「毎朝、アルバイトに行かなければならないので。」

「それなら大丈夫だよ」とヒュレット兄弟がきっぱりと言いました。「教会の農場に行くのは、いつも午後だから。」ヒュレット兄弟は申し込み用紙を回しました。「神権に聖任されたとき、君たちにはそれぞれ、神の御名によって行動する力が与えられたんだ。そして、人に仕えることを通して主に仕えるとき、主の御名によって行動していることになるんだよ。それに、みんなで一緒に働いたら、全然大変だとは思えないと思うよ。」

申込用紙がぼくに回って来ました。信じられないことに、それまでの全員がその週毎日参加するよう申し込んでいました。これがどれだけひどい仕事か知らないのでしょうか。ぼくは義にかなった仲間からのプレッシャーを強く感じ、しぶしぶ自分の名前を書いて、次に回しました。

月曜日の午後、自分の部屋で座って朝の仕事の疲れを癒やしていると、外でヒュレット兄弟が車のクラクションを鳴らすのが聞こえました。一瞬だけためらい、再び汗染みて湿った作業着に着替えました。

間もなく、教会の農場に到着しました。ぼくを除いて全員が畑に向かって全力で駆け出しました。その後ろをうなだれて石を蹴りながら歩いていると、肩に手が置かれるのを感じ

て驚きました。「一緒に来てくれてありがとう」とヒュレット兄弟が励ましました。「今朝君が一生懸命働いたことは分かっているよ。」ぼくたちは少しの間無言で歩きました。それから彼はグループ分けをして指示をするために先に走って行きました。

ぼくはヒュレット兄弟を見ながら、彼が言ったことについて考えました。その朝、ぼくは確かに一生懸命働きました。疲れて汗臭く、家に帰りたと思っていました。でも、ヒュレット兄弟はどうでしょうか。彼だって午前中忙しく働いてきたのです。さらに言えば、仲間もみんなそうです。なのに、どうして彼らはここに来てうれしそうにしているのでしょうか。

ぼくは仲間を追いつき、みんなで働き始めました。最初、自分の払っている気高い犠牲を思うことで自分を励まそうとしました。でも、すぐに自己中心的な考えは消え、みんなで助け合うことで作業が速く進んでいることに気づきました。笑い合い、おしゃべりしているうちに、楽しんでいる自分に突然気づきました！ わずか数時間で、ぼくたちは割り当てを終えることができました。

家へ向かう車の中でぼくは、耐えがたい犠牲と思っていたことが取るに足りないものだったことに気づきました。実際、みんなが力を合わせたおかげで、犠牲でも何でもないと感じられたのです。

ステーションワゴンをぼくの家の前に止めると、ヒュレット兄弟は振り返ってぼくを見ました。「今日は手伝ってくれてありがとう。君が熱心に働いてくれたおかげでみんなの仕事が楽になったよ。」そう言ってほほえみ、ウインクをしました。

ぼくも笑いかけました。「そう言ってくれるのはうれしいですけど、皆で助け合ったから楽にできたんです。」車から降り、ドアを閉めました。

ヒュレット兄弟がギアを入れ、車は動きだしました。「じゃ、また明日」と、彼は開いた窓から呼びかけました。

「はい、また明日」とぼくは答えました。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。



そこが知りたい



教会について友達に話すと、
**決まり事が多すぎるから
興味がないと言われます。**
友達に何と言えばよいでしょうか。

どのような「決まり事」でも、それを受け止める態度は普段どのようなことに慣れているかに大きく左右されます。まったく歯を磨かないことに慣れている友達がいたとして、あなたが毎日歯磨きをするように教えられてきたからそうしていると話したら、その友達は厳しい決まり事だと感じるかもしれません。しかし、あなた自身は歯磨きが単なる習慣、つまり生活様式になっているので、「決まり事」とも思いません。全然歯を磨かなくてよいことは一種の自由だと友達が考えるとしても、あなたはそれがどのような問題を引き起こすか、歯を清潔で健康な状態にしておくことがどれほど気持

ちのよいことかを知っています。

教会の「決まり事」についても同じです。友達は教会員が守る標準を厳しいと思うかもしれませんが、あなたは主と主の僕たちが標準を与えてくださったのは、わたしたちがより良い人生を送り、天の御父のもとへ帰るためだということを知っています。それに、神の戒めを守ることは必ず祝福ももたらします。その一つが聖霊を伴侶とする祝福です。これらの利点や祝福を友達に説明し、「決まり事」が神から与えられたものかどうかを本当に知る唯一の方法は、それを守ってみることなのだと言ってみるとよいでしょう（ヨハネ7：17 参照）。■

神はなぜ 人を造られた のでしょうか。

理解すべき大切なことは、神が何もない状態からわたしたちを「造られた」のではないということです。わたしたち人が生まれる前にも、わたしたちの基礎となる部分は存在していました。「人もまた初めに神とともにいた。英知すなわち真理の光は、創造されることも、作られることもなく、実にそうすることのできないものである。」（教義と聖約93：29）この知識があるおかげで、わたしたちは天の御父が出任せや気まぐれからではなく、深い目的をもって人を造られたことも知っています。預言者ジョセフ・スミスはこのように教えました。「神は御自身がかもろもろの霊たちと栄光の中にいることを御覧になり、英知においてはるかに優れておられたので、他の者たちも御自分のように進歩する特権にあずかれるように律法を定めることがふさわしいとお考えになりました。」（『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』210 参照。モーセ1：39も参照）天の御父は、わたしたちが進歩し御父のようになる機会を得ることを望まれました。わたしたちの霊を造り、救いと幸福の計画を備えられたのは、そのためです。この計画には、現世の生活が必然的に含まれます。ですから、この質問に対する最も簡潔で最も良い答えは、神が何のために全てのことをなさるのかという質問の答えと、恐らく同じなのです。つまり、神がわたしたちを愛しておられるから、というのがその答えです。■

物事は、 見かけどおり とは限らない

楽しみと冒険を追い求めて
危険な道に足を踏み入れないようにしましょう。

(ヒラマン3:29 参照)





正しい理由で

ラセム・マルーフ

2011年、わたしは人生で最も大切な決断の一つを下し、おかげで最高の宝物を得ました。伝道に出ることにしたのです。しかし、この決断を下すのは簡単ではありませんでした。

子供時代から少年時代にかけて、主はわたしにサッカーを楽しむ機会を与えてくださいました。わたしはパラグアイのユースサッカーチーム「リベルタード」とともにヨーロッパやアジア、南アメリカに遠征し、パラグアイ代表として国際的な大会に出場しました。

幸いにも、両親はスポーツ活動に並行して、わたしがきちんとした教育と霊的な養いを受けられるように常に取り計らってくれました。母の信仰と証は、確かにわたし自身の信仰と証の源でした。母の忠実さのおかげで、スポーツで忙しい毎日を送っていたにもかかわらず、わたしはセミナーに

出席しました。

フルタイムの伝道については子供の頃から聞いてはいたものの、わたしは伝道に出る決意がつきませんでした。ところが、父がワードのビショップリックで奉仕する召しを受けたときに、状況が一変しました。この召しを受けるかどうかは父にとって難しい決断でした。父はわたしのサッカー人生に大きく関わってきたからです。サッカーの練習や試合があるときにはいつも付き添ってくれましたし、多くの時間を一緒に過ごしていました。ですから、ビショップリックで奉仕する召しを受けるということは、わたしのサッカー人生を支える時間を犠牲にすることを意味していたのです。

父が支持された聖餐会で、わたしの心にこんな強い思いが生まれました。わたしが正しい理由で大切なことを犠牲にしなければ、周りの人の犠牲が

無駄になるという思いです。証会するとき、わたしたちが従順であれば、家族は永遠に続くと言った人がいました。その言葉はわたしの心に深く染み込みました。そして、家族と永遠に一緒にいるためなら、自分にできることは何でもしようと思えました。その日曜日、レッスンの中で何人も人が戒めを守ることの大切さについて話しました。主に仕えなさいと御霊がとても強く促すので、わたしは家庭の夕べのときに、伝道に出る決意をしたと家族に報告しました。

.....
伝道ほど大きな喜びと平安、たくさんの奇跡をわたしに与えてくれたものは他にないのです。
.....



伝道のと看

ニュージーランドのラグビー選手シドニー・ゴーイング兄弟についてのビデオ(日本語字幕)は、lds.org/go/going300で視聴できます。

奉仕する

この決断を下したということは、大学を休学するだけでなく、サッカーチームと結んでいた5年間の契約を解消しなければならないことも意味していました。契約を解消できるよう、主は最初から道を開き、周りの人々の心を和らげてくださいました。

宣教師申請書を提出した後のことです。2011年4月の総大会を聞いていたところ、十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老がシドニー・ゴーイング兄弟の伝道経験を紹介したのです。ゴーイング兄弟はプロのラグビー選手で、ニュージーランドの代表チームの一員でした。ゴーイング兄弟が伝道に出て、帰還後もプロに復帰したという事実は、わたしにとって良い教訓となりました。伝道期間中、わたしはこのアンダーセン長老の話を何度も聞きましたし、今日もまた聞きました。この話のおかげで祝福を

頂き、心に平安を得てきました。家族やワード、ステーキの会員から聞いた無数の証は、奉仕する決意を強めてくれただけでなく、伝道中苦しかったときに支えとなりました。

おまけにもう一つうれしかったのは、わたしが伝道に出る決心をしたことで、3人の親友も伝道を決意したということです。彼らは後にゾーンリーダーや伝道部会長補佐、さらには支部会長としても、奉仕しました。わたしたちは、天の御父のもとへ帰れる道をしっかりと見据えるようになっています。

わたしは3年前とはまるで別人です。わたしが一番の望みは、主の御心^{みこころ}を行うことです。主はわたしを「幾倍も」祝福してくださいました(マタイ19:29)。天の御父は神であられ、御子^{あがな}は神聖な贖いの業をしてくださりました。神の聖なる御霊には清めの

力があります。この末日に不思議な驚くべき業が行われ(イザヤ29:14参照)、預言者ジョセフ・スミスを通して福音が地上に回復されました。これらのことについて、わたしには生きた、心からの証があります。

伝道という神聖な時間を与えられたことに対して、そしてウルグアイ・モンテビデオ伝道部のたくさんの兄弟姉妹と知り合って彼らを愛することができたことに対して、わたしの心は愛と感謝でいっぱいです。彼らのために奉仕すること以上にすばらしい祝福は、ほとんどありません。伝道ほど大きな喜びと平安、たくさんの奇跡をわたしに与えてくれたものは他にないのです。■

筆者はバラグアイ在住です。

モルモンは**確かに** 神を信じています



家から遠く離れた空港で、見知らぬ人に福音を分かち合う機会がありました。



ブレンダ・エルナンデス・ルイス

メキシコからアメリカ合衆国モンタナ州へ向かっていた時のことです。コロラド州デンバーで飛行機の乗り継ぎがあったわたしは、空港内を歩きながら、飛行機が離着陸する様子を巨大な窓から眺めていました。飛行機に乗るのが初めてで緊張していたわたしにとって、空港はとても広く感じました。

航空券を見ると、出発まで2時間あることに気づきました。わたしは座る場所を探して、飛行機に乗るまでの間、本を読むことにしました。椅子を探しながら、不安を感じました。席がほとんど埋まっていたからです。わたしは年配の女性の隣に座ることにしました。その女性は独りのようでしたし、唯一怖くなさそうでした。

1時間くらいたってから、わたしはようやくこの女性に話しかけることにしました。自己紹介をすると、その女性はとて

も感じの良い人で、彼女の孫の様々な特技について熱心に話してくれました。わたしのこともほんの少し聞いてくれたので、メキシコでの生活についていろいろ話しました。すると突然、その女性に福音について話すべきだと感じました。女性がわたしの宗教について尋ねたので、わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であると言いました。

女性はその教会は聞いたことがないと言いました。

わたしは笑顔で「モルモンとしても知られています」と答えました。

すると女性は、急に態度を変えました。表情やわたしへの話し方が変わり、返事に困っているようでした。これ以上話せない雰囲気でしたが、わたしは女性に話し続けようと思いました。宗教は何か尋ねると、彼女は躊躇せずに「カトリックよ」と言いました。



そして、このように言いました。「理解できないわ。こんなにすてきで、感じの良い子なのに、あなたはなぜモルモンなの？」

わたしはこの言葉に衝撃を受け、何と答えたらよいか分かりませんでした。心の中で祈り、末日聖徒であることがわたしにとってどんなに素晴らしいことか説明できるよう助けを求めました。わたしは、教会員であることに喜びを感じていること、福音の教えのおかげでより善い人となり、広い視野で物事を見られることを話しました。

女性は驚いた様子でこう言いました。「モルモン教徒は神を信じていないのよ。」

この一言を聞いて、わたしは笑いをこらえました。その代わりに笑顔を見せ、女性に真理を分かち合うチャンスだと思いました。わたしは教会の基本的な信条を幾つか説明

しました。救いの計画や家族の大切さについて教えました。女性はまだ納得できない様子だったので、わたしは証^{あかし}を述べることにしました。大きな空港の片隅で、わたしは祝福されて、ジョセフ・スミスや生ける預言者と使徒についての証と、福音やモルモン書を愛する思いを伝える勇気を与えられました。

時計を見ると、飛行機に乗る時間になっていました。

その日わたしは、それまでになかった方法で証が強められました。女性に証を述べたことをうれしく思うと同時に、教会員に対する彼女の考えを改める助けができたことに感謝しました。これからは教会について尋ねられたら、もっと自信をもって話せることでしょう。■

筆者はメキシコのチワワ在住です。



じゅうに し と ていじんかいかいちよう
十二使徒定員会会長

ボイド・K・
パッカー会長

じゅうに し と ていじんかい
十二使徒定員会のかいじんは、
イエス・キリストの
とくべつなしょうにんです

みたまを うけるに ふさわしく なるには、 どうしたら よいでしょうか？



こころ たか おんがく き
心を 高める 音楽を 聞く。



けいけんに はな
けいけんに 話す。



ま
間ちがったことを したら、くいあらためる。



つつしみぶかい ふくそうを する。

これらのことを したら、
み
見まもられて
せいれいが みちびいて
くださるでしょう。

信仰についての レッスン



エマ・R, 11才(アメリカ合衆国テキサス州)

2, 3年前、わたしは家庭の夕べで信仰についてレッスンをしました。お兄ちゃんが、なぜ信仰が必要なのかという疑問を持っていたので、それまでもわたしたち家族は、たくさんの時間をかけて、信仰について話していました。わたしは取っおいたメロンの種を小さなコップに植えました。わたしは家族に、信仰は種のようなものだと言いました。大切に育てれば、種は大きく生長するのです。

わたしたち家族は、植物を育てても、うまくいったことはありませんでした。でも、この種はちゃんと育てて、信仰をしめす良い例にしたいと思いました。わたしはコップをまどのところに置いて、世話をしました。種が育つようにいのりながら、待ちました。

ほとんどあきらめかけていたのですが、1週間後、ついに緑色の芽が顔を出しました。まどの所で1週間さらに生長しました。それから、お父さんとお母さんが手伝ってくれて、うら庭の花

壇に場所を見つけて、植えかえました。

わたしは、自分のメロンを大切に育てました。水をやり、雑草をぬきました。メロンはどんどん大きくなり、わたしはうれしくてたまりませんでした。

何週間もたったとき、花がさいているのに気づきました。そして、小さな実が付き始めました。わたしが植えた小さな種から、つるがのびて、7つのメロンがなるのを見ました。わたしにとって、それはきせきであり、いのりの答えでした。メロンはあまくて、アルマ

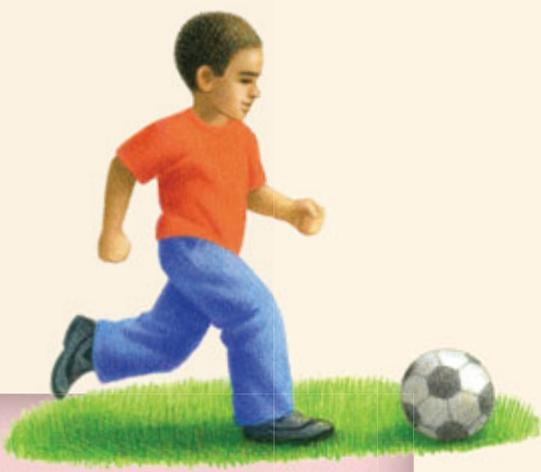
書第32章42節に書かれているとおりでした。「あなたがたは、み言葉が自分の中に根付くように、熱意と信仰とにんたいをもってそれを養うので、見よ、やがてその実を得るであろう。その実は最もかちがあり、どんなあまいものよりもあま[i]。』

この経験によって、わたしは大きな喜びを感じました。そして、わたしと家族は、信仰が真実の、イエス・キリストの福音の原則であることを学びました。■

あなたの番です

あなたにも、種を植えてほしいと思います。「リアホナ」であなたのあかしを分かち合おうと思ったことはありませんか？ あなたがイエス・キリストの福音をどのように実践したかについて、ほんとうにあったお話を分かち合ってもらいたいと思います。たとえば、いのりがこたえられたときの経験や、友達を教会にさそった経験について書いてもよいでしょう。

お父さんやお母さんに手伝ってもらい、あかしを送ってください。方法は3通りあります。liahona.lds.orgを通してインターネットで送る方法、2つ目は、電子メールで送る方法（送り先はliahona@ldschurch.org）、3つ目は、3ページに書かれている住所に郵便で送る方法です。あなたのワード/支部名を書き、お父さんかお母さんの許可書と一緒に送ってください。



**体があると、
どんなすばらしいことが
あるでしょうか。**

わたしたちの体はとても大切で神聖なため、主はわたしたちの体を神の宮とよんでおられます（1コリント3：16-17を見ましょう）。そして、体を持っているのは楽しいこともあります。体があると、走ったり、歌ったり、登ったり、笑ったり、絵をかいたり、泳いだり、おどったりなど、ほかにも楽しい活動がいろいろとできます。そして、体を使って学んだり、人を助けたり、家族を持ったり、世界をもっと良いところにしたりすることができます。



**なぜわたしたちには
体があたえられているのでしょうか。**

わたしたちは生まれる前、れいのじょうたいで、体はありませんでした。体を持たないといけないことがたくさんありました。神はわたしたちが体を持てるように、地上に送ってくださいました。天のお父様のようになるために、わたしたちはれいと体の両方を持つ必要があります（教義と聖約88：15を見ましょう）。

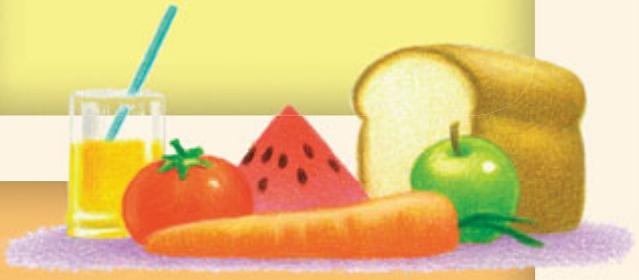
からだ
わたしの体は、

自分の体の中で、きれいなところが あったらどうしますか。

体の見かけや動きや働きが、わたしたちが望んでいるのとはちがう場合もあります。でも、今、どのような体を持っていても、体に感謝し、地上でよいことを行うために体を使うことを選ぶことができます。いつの日か、わたしたちはだれもが復活し、完全な体もらいます(アルマ40:23を見ましょう)。わたしたちの体がどのようであっても、神はわたしたちを愛してください、わたしたちも自分を愛することができるのです。

なぜみんな、ちがった体を持 っているのでしょうか。

体はどれも、形や色や大きさがちがいます。それは天のお父様の計画の一部です。体は人によってちがいますが、わたしたちはみな、神の形にかたどられてつくられています(創世1:26を見ましょう)。それはつまり、わたしたちの体は、神の完全な体にならせてつくられているということです。どの体もみな、愛にあふれた天のお父様からのおくり物なので、美しいのです。



わたしは体をどのように 大切にすればよいでしょうか。

貴重なたから物のように、愛とそんけいをもって、体を大切にしなければなりません。預言者や知恵の言葉を通して、天のお父様はわたしたちに、わたしたちの体にとって良い物と悪い物を教えてくださっています。体を大切にするためにできることはたくさんあります。

- 健康な食物を食べ、運動する。
- つつしみ深い服装をし、体を清潔にたもつ。
- ほかの人の体を大切にす。
- 体に入れずみを入れたり、ピアスをしたりしない。
- 麻薬、アルコール、たばこ、コーヒー、お茶は決して口にしない。
- 安全で楽しいゲームをするようにして、きげんな活動はさける。

自分の体を大切にすると、せいいいをもっと感じることができます。

神から命じられているように、
自分の体を大切にするとき、わたしたちは祝福を受けます。
(モーサヤ2:41; 教義と聖約89:18-21を見ましょう)



か み み や 神の宮です

わたしたちは バプテスマと かくにんを 通して、 教会のかわいいに なります

ジェニファー・マディー

マリエラは なきそうな 顔で
学校から 帰って 来ました。
「どうしたの?」にわで 花を うえて
いた お母さんが、たずねました。

「ソニアが わたしと あそぶって やく
そくしたのに、あそんでくれなかったの。」
マリエラは そう 言う、かだんの
土の 上に ポンと 下りて、お母さんの
となりに 来ました。

「それは、かわいいようにと お母さんが
言いました。「やくそくを まもるのは
大切よね。来週 あなたは バプテスマ
と かくにんを うけるけれど、そのとき
とても 大切な やくそくを するのよ。
それは せいやくと よばれるの。」

「ほんとう?」マリエラが 聞きました。

マリエラは バプテスマを うけるのが
たのしみでなりません。

お母さんは 黄色い 花を じめんに
うえながら、言いました。「あなたは
いましめに したがうと やくそくするの。
そして、イエス・キリストの みなを 自分
の みに うけるということも やくそく
するわ。もし これらのことを したら、
天の お父さまは 何を してくださる
んだったかしら。」

マリエラは 初等協会で 学んでいる
ことについて 考えました。「せいいいが
ともにあるように してくださるわ。」

「そうね。そして、あなたは イエス
の 教会の かわいいに なるの。いま
しめを まもるという やくそくを、どの
ように まもることが できるかしら。」
お母さんが 聞きました。

「わたし、やさしくなれるし、しんりに
ついて 言えるわ」と マリエラは 答え
ました。そして「イエスの みなを うけ
るって どういうこと?」と 聞きました。

「それはね、イエスのように なるう
と どりよくして、イエスが して
ほしいと 思われることを 行うと
いう いみなのよ」と お母さん
が 言いました。「イエスのように

なるために 何が できるかしら。」

マリエラは むらさきの 花を ゆびで
まわしながら、「クラスに 新しく 入っ
た 女の子と いっしょに すわって
あげられるし、ソニアにも やさしくして
みるわ」と 言いました。

「それは すばらしい 考えね。それ
から、せいさんを うけるとき、自分が
した やくそくを 思い出すと いいわ
ね」と お母さんが 言いました。

マリエラは ほほえむと「もう一つ、
やくそくしたことが あったわ。きれい
な かだんに なるように、花に 水を
あげるっていう やくそくね。」■

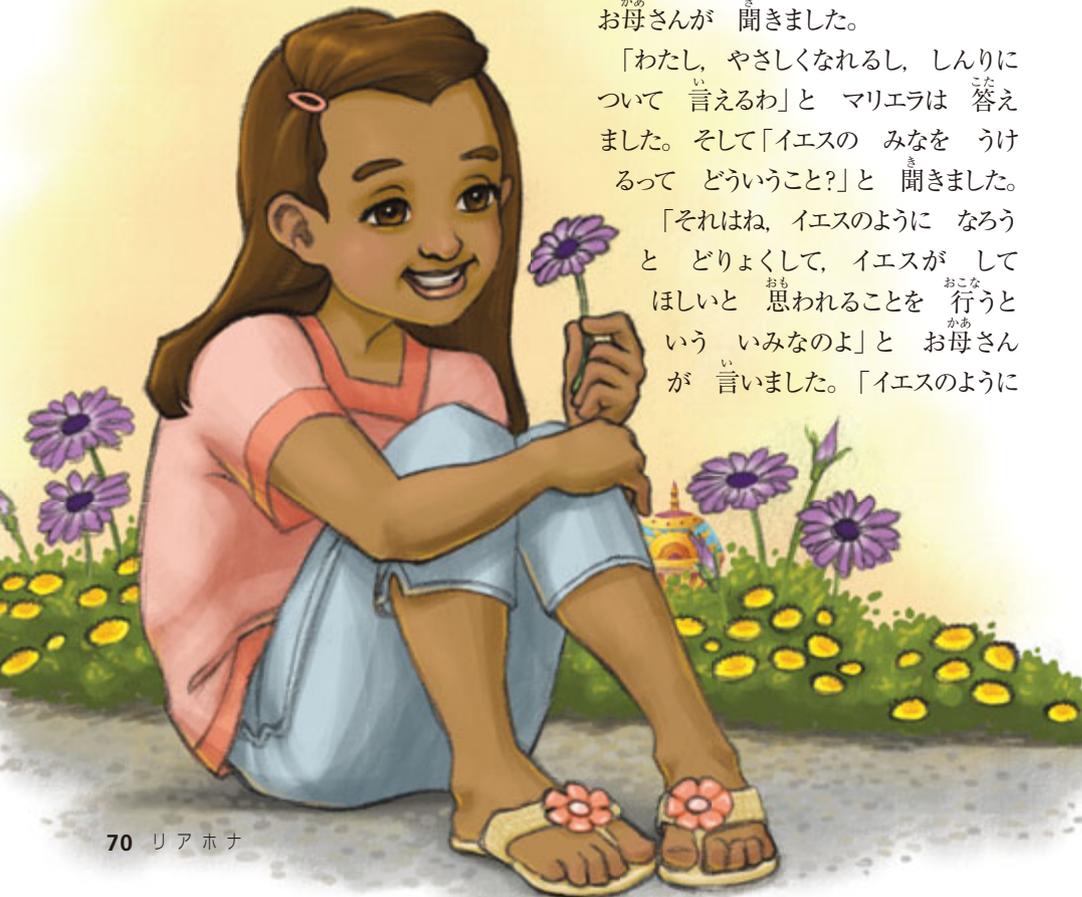
このお話を 書いた人は アメリカの ユタシゅうに
すんでいます。

うた 歌と せいぐ

- 「バプテスマ」
『子供の 歌集』54 (1番と3番)
- ヨハネ 3:5

かぞくで 話し合うための アイデア

マリエラは、イエス・キリストに したがうこと
によって バプテスマの せいやくを まもる ほう
ほうを 考えました。あなたの かぞくも、かていや
学校、また そのほかの ばしよで、イエスのように
なる ほうほうを 考えることが できます。せいせん
を うけるときに 自分の バプテスマの せいやく
を 思い出すことを、かぞくの もくひょうに して
ください。



わたしは バプテスマの せいやくを まもることが できます

わたしは バプテスマの せいやくを まもることが できます

バプテスマの せいやくに ついての えいがを
つくるために、わくと 絵が つながった 長い 紙を
切ります。2まいの 絵の 紙を のりや テープで
はり合わせて、1まいの 長い 紙に します(のり
しろAと Bを かさね合わせます)。絵と わくを
あつ紙に のりや テープで はります。わくの 点
線に 2本の 切りこみを 入れます。切りこみに
長い 紙を 通して、絵が わくの 前に 出るよ
うに します。



A



わたしは いましめを まもると やくそくします。

バプテスマを 上げるとき、

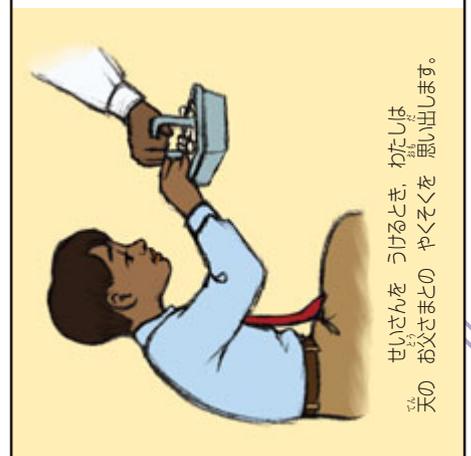


わたしは 父のお父さまと やくそくします。

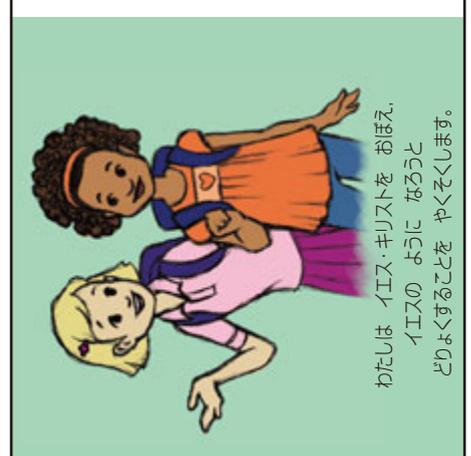
B



バプテスマの せいやくを まもるとき、
父のお父さまは せいれいが ともに いて
わたしを みちびいてくださると やくそくして おられます。



せいさんを 上げるとき、わたしは
父のお父さまとの やくそくを 思い出します。



わたしは イース・キリストを おぼえ、
イエスの ように なるうと
どりよくなることを やくそくします。



わたしたちの ページ



レスリー・Q, 6才 (エクアドル)



レディー・Q, 9才 (エクアドル)



サーチャ・S, 11才 (インドネシア)



「モルモン書」 ウィリアム・M, 10才 (ブラジル)



ある年の初等協会のはっぴょうで、わたしはピアノで「ぼくはむかし」のばんそうをしました。つぎの年は、手話で「しんでんに行きたいな」のしきをしました。つぎの年は、「心むければ」をおぼえることがもくひょうでした。しゅがわたしにいろいろなさいのうをあたえてくださったことを知っています。そして、わたしはさいのうをのぼして、人人をしゅくぶくするためにつかなければならないことや、そうすれば、もっとさいのうをのぼせることを知っています。わたしはかみのむすめであり、イエスキリストはわたしのためにいのちをささげてくださったことを知っています。

ルナ・マリソル・I, 8才 (アルゼンチン)

「わたしたちのページ」に皆さんの絵や写真、経験談を送ってください。送り方は、3通りあります。1つ目は、liahona.lds.orgを通して送る方法、2つ目は、電子メールで送る方法(送り先は liahona@ldschurch.org、件名は「わたしたちのページ」)、3つ目は、3ページに書かれている住所に郵送する方法です。

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3才から11才)、それに加えて親の名前、所属ワード/支部名、ステーク/地方部名を明記し、子供の写真や提出物の使用に対する親の許可書(電子メールでも可)を添えてください。救い主の絵は送らないでください。掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。



七十人
エドアルド・ガバレット長老

仕えるそなえ

「神のいましめを守ることを
わかいうちに習慣としなさい。」
(アルマ 37:35)

わたしは、ウルグアイのミナスとい
う町で育ちました。6才のとき、
母と姉たちがバプテスマを受けて
教会に入りました。父はその後も
ずっと教会には入りませんでした、
いつもわたしたちが教会に行くのを
喜んでいました。知恵の言葉や自分
の一さえ守っていました。

わたしたちの支部はとても小さく、
教会の建物はありませんでした。
家を借りて集会を開いていました。
その家には小さなプールが外にあり、
わたしたちはそれをバプテスマに使
いました。

8才の誕生日が近づくにつれ、わたし
は楽しみで仕方がありませんでした。
でも、当日は、雨がふって、とても寒
い日になってしまいました。お母さん
から、寒いので別の日にした方が
いいのではないかと言われましたが、
その日はちょうどわたしの誕生日で、
わたしはどうしても自分の誕生日に
バプテスマを受けたいと思いました。

わたしは白い服を着て、バプテスマ
を受けるためにプールに入ったのを
覚えています。水はきつと冷たいだろう
と思いましたが、冷たいと感じません

でした。自分は正しいことをしている
と知っていたので、温かい気持ちが
しました。

それから間もなくして、支部の礼拝
堂が建てられました。当時、教会員は
集会所を建てる仕事を手伝うことが
できました。わたしの仕事は落ちた
くぎやねじを拾って、もう一度使える

ようにすることでした。簡単な仕事で
したが、わたしにとってはとても大切
な仕事でした。その仕事のおかげで、
わたしはどのように仕えるかを学び、
将来の教会の奉仕にそなえることが
できました。みなさんはおさなくても、
今みなさんが行うことには、大切な意味
があります。■



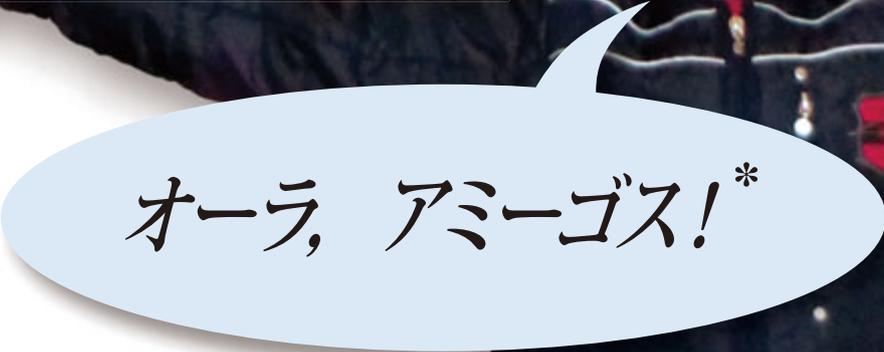


ぼくは、ブラジルの ペドロです

エイミー・ジェーン・
レビットとの
インタビューから

ペドロは南アメリカでさいだいの国、ブラジルにすんでいます。ペドロの家は、ブラジルのパラナシゅうのしゅうとであるクリティバという町にあります。ペドロはお母さんやお父さん、お兄さんや妹といっしょに時間をすごすのが好きです。かぞくでいっしょにしんでんに行ったり、かいがんにいったりするのが大好きです。ペドロはいつかせんきょうしになるのを楽しみにしています。■

*ポルトガル語で「こんにちは、友だちのみなさん!」といういみです。



オーラ, アミーゴス!*

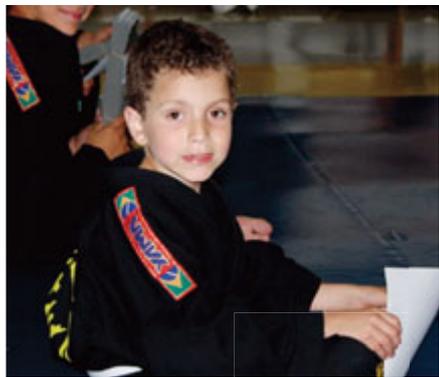
毎朝、ぼくはかぞくといっしょにせいぶんを讀んでいのってから学校に行きます。ぼくのすきなかもくは園工とブラジルのインディアンのでれきしです。学校の友だちの中で教会いんはあまりいません。ぼくは友だちに自分がしんじていることを話して、いっしょに教会に来てくれるようにさそいます。





ぼくの すきな
せいぶんの ものがたりは、
ニーファイが しんちゅうの はんを
手に入れるために エルサレムに
もどったときのお話です。
ぼくは もくひょうを立てて、
たっせいするのが すきです。
12才になる 前に、
「かみへのしんこう しょう」を
もらえるように 計画しています。

ぼくは 絵を かくのが すきです。
毎週 何時間も 絵を 書いて すごします。
図書館に 行って
びじゅつの本を 見るのも すきです。



ぼくは サッカーが 大好きです。
もう一つ すきな スポーツは、
ハブキドという かんこくの 台氣道です。



しんでんを 見るのが 大好きです

ぼくのかぞくは クリティバの しんでんに
行って、いっしょに にわを さんぼるのが
すきです。しんでんが たてられたとき、ぼくは
まだ 4才でしたが、オープンハウスで 中を
見て 回ったのを おぼえています。ぼくに
とって、とくべつな 思い出です。

じゅんぴ オーケー!

ベドロの スーツケースには、ベドロの すきな
ものが 入っています。この中で あなたが
自分の スーツケースに 入れたいものは どれ
ですか?

大きくなったら、ぼくは
せんきょうしに なりたいです。
ぼくは アマゾンの ねったいりんの ある
マナウスで でんどうしたいです。
その後、アートデザイナーとして
はたらきたいです。



1月の
パスポートの
スタンプが
なかったのに
気づきましたか?
切りとって、
コレクションに
くわえてください。



サラは ^{ある}ずっと 歩きつづけました

ハイジ・ポールマン

ほんとうに ^{はなし}あった ^かお話を もとに 書かれました。



サラは、とんだり はねたりしました。サラは、これから、かぞくと いっしょに シルバー
レークを ^{ある}歩いて いっしゅう ^{おとうと}するのです。弟の ジョシュが、^{さき}先に ^{はし}走って ^い行きました。

やがて、たいようが サラの うでに
^あ当たって、^{あし}あつくなってきました。足が
つかれてきました。

「しんぱいしないで。もうすぐ ^{くるま}車に
もどれるわ」と ^{かあ}お母さんが ^い言いました。



そのとき オレンジ色の
 ロープで 道が ぶさがれて
 いるのが 見えました。「はしが
 こわれているんだ。また みずうみ
 を 回って 歩いて もどろう」
 と お父さんが 言いました。

「でも、すごく つかれたわ。」
 サラは、言いました。ジョシュは
 じめんに すわりこんで、 なきべそ
 を かきました。



「かいたくしゃの お話を おぼえてる？」 お母さんが、聞きました。
 サラは うなずきました。サラは かいたくしゃが すきでした。
 「みんな、とても 長い きよりを 歩かなければ ならなかったのよ」と お母さんが
 言いました。「とても あついときも あったし、とても さむいときも あったわ。でも、
 みんな 歩きつづけたの。新しい 町につくと、家や しんでんを たてたのよ。」

サラは、かいたくしゃが ^{ある} 歩きつづけてくれて よかったと ^{おも} 思いました。自分も ^{じぶん} 歩きつづけようと ^{おも} 思いました。ジョシュに ^て 手を のばして 「おいで」と よびかけました。「もう ^{すこ} 少し ^{ある} 歩きましょう。」■

ひっしゃは アメリカがっしゅうこく ユタしゅうに すんでいます。





あなたの ^{せいかつ}生活は、
むかしの ^{せいかつ}かいたくしゃの生活と どのようにちがうでしょうか？
どのようなところが ^{おな}同じでしょうか？

岸から 目を離さない

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー

近くの国立公園の島までカヌーをこいで行くという計画は、息子との距離を縮めるのにぴったりのように思えました。ワードのアロン神権指導者と若い男性たちが何か月もかけて計画してきた活動に、わたしも参加することができました。

息子のマッケイはとても健康で、高校でも3つのスポーツに参加していました。息子とわたしが二人一組でカヌーに乗るように指導者が決めたのも、それが一つの理由でしょう。必要なときには、十分強くパドルをこげると分かっていたからです。わたしは、カヌーを導く役をした経験もあり、わたしたちは良い組み合わせのように思えました。

わたしは、湖で息子と話す時間を持つのも楽しみにしていました。マッケイは母親を亡くしてから、いろいろな経験をしてきましたが、わたしは、彼の必要や興味に対して、常に最善の方法で応えてあげられたわけではありません。

わたしたちは訓練を受け、救命胴衣を装着しました。わたしたちは泳ぎもできましたし、経験豊富な指導者たちが導いてくれてもいました。

しかし、風のことは計算に入れていませんでした。数マイル、パドルをこいでから、湖の真ん中を通過して、岸に向かって近づいていました。そのとき、めったにない強い逆風にあおられたのです。

ほかのカヌーは何とか岸までたどり着きましたが、マッケイとわたしのカヌーは、最後尾にいました。波はどんどんと押し寄せ、こいでも、こいでも進む方向がずれ、何の進展もないよう



息子はわたしに、
どこに
目を向けるべきか、
どのように
堪え忍ぶべきか
について、
力強い教訓を
与えてくれました。

に思えました。わたしは疲労困憊^{こんばい}し、危機感ばかりが募りました。パドルを水に深く入れ、力いっぱいこぎ、何とか軌道修正をしようとしたのですが、まったく同じ位置にとどまっているように思えました。

転覆の危険もあり、わたしはついに、もうこれ以上こぎ続ける力があるかどうか分からないと声を出してしまいました。すると、息子がこう言ったのです。「父さんは、波を見ているよ。それじゃどこにもたどり着けない。岸から目を離さないで。丘の上の木が見える？ あれがゴールだよ。あれだけを見ていたら、きっと切り抜かれる。」

息子の言うとおりでした。その木だけを見るようにすると、軌道を外れずに進むことができました。腕に力が戻ったように感じました。マッケイが、こぐタイミングを「引く、休む、引く、休む」と声かけしてくれたおかげで、確実に進むことができました。

わたしたちが岸に着くと、みんなが助けに駆け寄ってくれ、わたしたちは腰を下ろして、一息つきました。その晩テントの中で、父と息子二人でその日の経験について語り合いました。

一緒に、トーマス・S・モンソン大管長が、主の灯台について教えてくれたことを思い出しました。「主の灯台は人生の嵐^{あらし}の中で合図を送り、『こっちが安全だよ、こっちが帰り道だよ』と教えてくれます。」¹

その日の午後、わたしたちの灯台となったのは、岸に立っていた1本の木でした。わたしが絶望しそうになったとき、息子は賢明にも、波を見るのではなく、岸を見続けるように教えてくれました。わたしたちは力を合わせてパドルをこいだけだけでなく、多くのことをともに成し遂げたのです。■

注

1. トーマス・S・モンソン「信じ、従い、堪え忍ぶ」『リアホナ』2012年5月号、126-127



イラスト／ロバート・T・ハレット

トーマス・S・ モンソン大管長

トーマス・S・モンソンは、おさないとき、ウサギやハトを育てていました。やさしいことで有名なトーマスは、感謝祭に食べ物^{たもの}がなくてこまっていた家族に、自分のペットのウサギ^{うさぎ}をあげ、クリスマスプレゼントがもらえなかった少年に自分のおもちゃの電車^{でんしゃ}をあげました。大人になってからは、出版の仕事をし、デゼルト・ニュースで働きました。使徒として、東ドイツで最初のステーキ^{ステーキ}を組織し、教会がドイツ・フライブルク神殿^{でんしゃ}を建てるきよか^{きよか}をもらいました。モンソン大管長は、教会の全ての会員に、助けの必要な人を救いに行くようによびかけています。

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

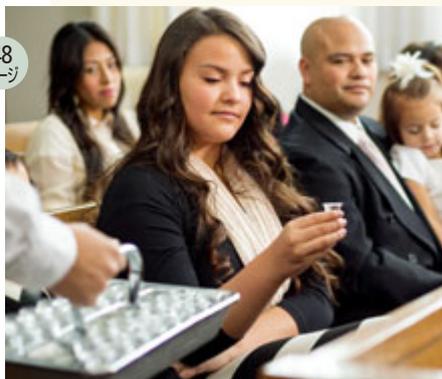


キリストにあって 完全になる

42
ページ

救い主が全ての人に惜しみなく与えてくださる**あがな**の愛を理解することで、完全とは何かについての間違った非現実的な考え方をしないで済みます。

青少年



48
ページ

聖約を通して 強いクリスチャンとなる

神との聖約は、どのようにわたしたちを強めてくれるでしょうか。3つの事柄を紹介しましょう。

子ども

信仰しんこうについての レッスン

エマは信仰しんこうについて家族かぞくに教えるためにメロンももを育てました。



67
ページ



JAPANESE

末日聖徒
イエス・キリスト
教会